

11

防水工事

2

シーリング

3

防水テープ

4

バルコニー手すり

5

ケイ酸質系遮水防水

12

石工事

14

屋根及び土い工事

15

金属工事

16

左官工事

17

建築工事

18

塗装工事

19

内装工事

20

電気配線工事

21

排水工事

22

舗装工事

23

緑化工事

24

その他

25

新設材料等

26

改修材料等

27

その他

28

その他

29

その他

30

その他

31

その他

32

その他

33

その他

34

その他

35

その他

36

その他

37

その他

38

その他

39

その他

40

その他

41

その他

42

その他

43

その他

44

その他

45

その他

46

その他

47

その他

48

その他

49

その他

50

その他

51

その他

52

その他

53

その他

54

その他

55

その他

56

その他

57

その他

58

その他

59

その他

60

その他

61

その他

62

その他

63

その他

64

その他

65

その他

66

その他

67

その他

68

その他

69

その他

70

その他

71

その他

72

その他

73

その他

74

その他

75

その他

76

その他

77

その他

78

その他

79

その他

80

その他

81

その他

82

その他

83

その他

84

その他

85

その他

86

その他

87

その他

88

その他

89

その他

90

その他

91

その他

92

その他

93

その他

94

その他

95

その他

96

その他

97

その他

98

その他

99

その他

100

その他

特記事項

DRAWN BY

CHECKED BY

APPROVED BY

令和 7年 8月 31日

JOB NAME

DRAWING TITLE

SCALE

NO

（有）高木建築設計事務所

TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC

〒725-0026 竹原市中央2-11-16

設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男

事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

令和 7年 8月 31日

JOB NAME

DRAWING TITLE

SCALE

NO

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事

設計図

A-02

(有)高木建築設計事務所
TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 084-
725-0026 竹原市中央
設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男
事務所登録 広島県知事登録

土 事	①	埋戻し及び盛土	材料及び工法 ※ 標準仕様書表3.2.1による（表3.2.1） ・ A種 適用箇所（ ） ・ B種 適用箇所（ ） ・ C種 適用箇所（ ）土質（ ）受渡箇所（ ） ・ D種 適用箇所（ ） ・ 材料：（ ）品質・細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。） 工法：（ ）	②	建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指し場所に散き均し ・ 構内指し場所に堆積	（3.2.5）																		
	特記仕様書（構造関係） 適用範囲 4章から7章までの適用範囲は下記の工事項目とする。 ・ 特記仕様書）仕様書 1 工事概要 3 工事項目に掲げる下記の工事項目番号（番号〇～番号〇までの工事項目）																								
地 業 工 事	④	地業工事	①	支持地盤等	○直接基礎 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ※ 構造図による ・ 試験図（掘り底の状態の確認等） 位置は構造図による ・ 地盤の平載荷試験 載荷試験の方法 ※ 地盤工学基準 JIS 1521 による 試験の位置、載荷荷重 ※ 構造図による （4.2.4） 試験杭 試験杭の位置 ※ 構造図による 杭の支持層への掘り込み深さ ※ 構造図による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 構造図による 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 構造図による （4.2.4） 種 類 ・ 孔壁の強度 ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・ 外殻管付きコンクリート杭（SGH） 50kgの鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） （4.2.2）（4.2.3） 杭符号 種類 コンクリート 杭径 厚さ 杭長 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭 杭先端部形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・ 構造図による 工法 ・ セメントミルク工法 ・ 鋼管深さ 掘削機液及び杭掘削機液の管理試験 ※ 標準仕様書4.3.4(6) (3) による ・ 構造図による ・ 特定専任施工工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式でα+250を採用できる工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式のうち α、β、γが以下の値を採用できる工法 α=（ ）, β=（ ）, γ=（ ） 工法 ・ プレボーリング拡大掘削工法 ・ 中掘り拡大掘削工法 ・ （ ） ・ 杭掘削機を使用する 杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 溶接材料 ※ 標準仕様書 7.2.5(1) (2) による ・ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※ 評定等を受けた工法 ・ 杭頭を処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※ 構造図による 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・ 構造図による （4.3.8） 鋼杭の材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） 寸法、継手等 （4.2.2）（4.3）（4.4.5） 杭符号 種類 杭径 (mm) 厚さ (mm) 杭長 (mm) 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭	2	杭内通事項	支持層の位置及び土質（基礎でいの先端の位置含む） （4.3.4.5）（4.4.4）（4.5.5.6） ※ 構造図による 試験杭 試験杭の位置 ※ 構造図による 杭の支持層への掘り込み深さ ※ 構造図による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 構造図による 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 構造図による （4.3.1） 種 類 ・ 孔壁の強度 ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・ 外殻管付きコンクリート杭（SGH） 50kgの鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） （4.2.2）（4.2.3） 杭符号 種類 コンクリート 杭径 厚さ 杭長 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭 杭先端部形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・ 構造図による 工法 ・ セメントミルク工法 ・ 鋼管深さ 掘削機液及び杭掘削機液の管理試験 ※ 標準仕様書4.3.4(6) (3) による ・ 構造図による ・ 特定専任施工工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式でα+250を採用できる工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式のうち α、β、γが以下の値を採用できる工法 α=（ ）, β=（ ）, γ=（ ） 工法 ・ プレボーリング拡大掘削工法 ・ 中掘り拡大掘削工法 ・ （ ） ・ 杭掘削機を使用する 杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 溶接材料 ※ 標準仕様書 7.2.5(1) (2) による ・ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※ 評定等を受けた工法 ・ 杭頭を処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※ 構造図による 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・ 構造図による （4.3.8） 鋼杭の材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） 寸法、継手等 （4.2.2）（4.3）（4.4.5） 杭符号 種類 コンクリート 杭径 厚さ 杭長 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭	3	既製コンクリート杭地業	種 類 ・ 孔壁の強度 ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・ 外殻管付きコンクリート杭（SGH） 50kgの鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） （4.2.2）（4.2.3） 杭符号 種類 コンクリート 杭径 厚さ 杭長 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭 杭先端部形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・ 構造図による 工法 ・ セメントミルク工法 ・ 鋼管深さ 掘削機液及び杭掘削機液の管理試験 ※ 標準仕様書4.3.4(6) (3) による ・ 構造図による ・ 特定専任施工工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式でα+250を採用できる工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式のうち α、β、γが以下の値を採用できる工法 α=（ ）, β=（ ）, γ=（ ） 工法 ・ プレボーリング拡大掘削工法 ・ 中掘り拡大掘削工法 ・ （ ） ・ 杭掘削機を使用する 杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 溶接材料 ※ 標準仕様書 7.2.5(1) (2) による ・ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※ 評定等を受けた工法 ・ 杭頭を処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※ 構造図による 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・ 構造図による （4.3.8） 鋼杭の材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） 寸法、継手等 （4.2.2）（4.3）（4.4.5） 杭符号 種類 コンクリート 杭径 厚さ 杭長 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭	5	場所打ちコンクリート杭地業	工法 ・ アースリフト工法（安定液 ※ 使用する ・ 使用しない） ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法（孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない） ・ 回転式 ・ 掘削式 併用する工法 併用する鋼管コンクリート杭工法 鋼管管きき材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） ・ 低張力工法（安定液 ・ 使用する ・ 使用しない） ・ （ ） 寸法等 （4.2.2） 杭符号 種類 杭径 (mm) 厚さ (mm) 杭長 (mm) 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭 杭先端部形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・ 構造図による 工法 ・ セメントミルク工法 ・ 鋼管深さ 掘削機液及び杭掘削機液の管理試験 ※ 標準仕様書4.3.4(6) (3) による ・ 構造図による ・ 特定専任施工工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式でα+250を採用できる工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式のうち α、β、γが以下の値を採用できる工法 α=（ ）, β=（ ）, γ=（ ） 工法 ・ プレボーリング拡大掘削工法 ・ 中掘り拡大掘削工法 ・ （ ） ・ 杭掘削機を使用する 杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 溶接材料 ※ 標準仕様書 7.2.5(1) (2) による ・ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※ 評定等を受けた工法 ・ 杭頭を処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※ 構造図による 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・ 構造図による （4.3.8） 鋼杭の材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ （ ） 寸法、継手等 （4.2.2）（4.3）（4.4.5） 杭符号 種類 コンクリート 杭径 厚さ 杭長 継手数 仕様数 長期設計支持力 (kN/本) 備 考 上杭 中杭 下杭 上杭 中杭 下杭	7	砂利地業	②	砂利地業	材料 ※ 再生クワッシュラン ※ 砕石又は切込砕石 砂利長さ ※ 60mm ○（15）cm 範囲 ※ 基礎下、基礎裏下、土間コンクリート下及び土に接するスラブ ・ 意匠図及び構造図による （4.6.2） ③	⑦	括コンクリート地業	観 測 ※ 基礎下、基礎裏下及び土に接するスラブ ・ 意匠図及び構造図による （4.6.4） 厚 さ ※ 50mm ・ （ ） mm （4.6.4） 設計基準強度 ※ 18N/mm ² ・ （ ） N/mm ² （4.6.4） スラブ ※ 15cm又は18cm ・ （ ） cm （4.6.4）	⑧	括コンクリート地業	観 測 ※ 基礎下、基礎裏下及び土に接するスラブ ・ 意匠図及び構造図による （4.6.4） 厚 さ ※ 50mm ・ （ ） mm （4.6.4） 設計基準強度 ※ 18N/mm ² ・ （ ） N/mm<

20

手すり

材料の種類及び仕上
・ SUS304 (表面処理 ※H 程度)
・ 鋼板 表面処理 滑散面めっき
(※標準仕様書 14. 2. 2による種別(種))
・ アルミニウム 表面処理
標準仕様書 表14. 2. 1による種別 (種)
色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
手すりの端り部分

材種	幅 (mm)	直径 (mm)	取付箇所	備考
○無垢材 ・ 材種 (材種 : 材種)	○クリアラッカー ・	・ 3. 5 程度 ・ 4. 5 程度		
・ ビニル製	・ クリアラッカー	・ 3. 5 程度 ・ 4. 5 程度		
・			・ なし	・

(20. 2. 9.)

種別	寸法 (mm)	色別	形式
・ 鋼板黒板 ※ 横付け ・ ほうろう黒板		※ 緑 ※ 黒	・ スクリーン付き引き分け ・
○ホワイボード	ほうろう	白	・ スクリーン付き引き分け

(20. 2. 14.)

形式	操作方法	種別	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス幅・高さ レールの材質	取付箇所
○横形 ※ 手動	※ キア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 鋼製	※ 鋼製
・ 縦形 ※ 手動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	※ 鋼製	・
・ 電動	・	・	・	・	・	・

アルミスラットの材質 横付け摩擦仕上げ
クロススラットの材質 滑防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

材種	寸法 (mm)	形状	外径	内径
※ アルミニウム製	※ 450×500 ・ 600×600	※ 一般形 ※ 屋内外用	※ 標準タイプ ※ 屋内外用	※ 標準タイプ ※ 屋内外用
・	・	・ 変形形	・	・

(品質・性能)
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの
表面処理 陽極酸化皮膜 JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの
(外観に關する場合は、JIS H 8602の種又は同等以上の性能を有するもの)
内外枠及び外枠のコーナーピース
鋼板に重めり等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
外枠の取付け金物
鋼板に重めり等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
内外枠の仕上げ材料用金物
アルミニウム及びアルミニウム合金用出材材、重めり鋼板又は同等の性能を有するもの
耐久性能 (繰り返し開閉試験)
(1) 300回の繰返し開閉試験後、内面の磨れ下がり、0. 5mm以内とする。
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0. 5mm以内
外枠と内枠のクリアランス 片側2. 0mm以内
(試験方法)
内面 (内枠) の繰り返し開閉試験
(1) 試験体は、一般事務用とし、片見込み40mm程度のものとする。
片見金物とは、外枠を天井下吊り受け用接合材に直接取付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を抜いて取付しない方式) とする。標準仕様書14. 2. 2. 1より製作した試験体は固定天井下吊り開口幅に試験体の天井吊り口450mm×450mmを各角4箇所にて各メーカー標準品に取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上材材は、せっこうボード厚さ9. 5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」の08-Rの難燃2級又は難燃性2級以上) 二重張りとする。
(2) 試験は、内面を閉じた状態から自由開閉状態にする動作を繰り返し行う。
(3) 測定は、上記繰り返し試験を300回行い、内面の磨れ下がり寸法を測定する。

①

階段及びホワイボード

②

ブラインド

③

天井点検口

④

フェンス

⑤

天井見切り網等

21

排水工事

排水工事

材料

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 通気口用コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・ 凸形管	※ 鋼製	
○硬質ポリ塩化ビニル管	・ R F-V P ・ R S-V U ○ V P ・ V U	※ 鋼製 ※ 鋼製 ※ 鋼製 ※ 鋼製	・ ・ ・ ・	

高床の厚さ及び種類 ※ 鋼製
硬質ポリ塩化ビニル管の継ぎ目に用いる材料 ※ 継ぎ目
側溝の形状及び寸法 ※ 鋼製
排水網の種類 ※ 鋼製
砂土層に用いる材料 ※ シルト、有機物等の混入しない経路に達した山砂、川砂又は砕砂
砂利地層に用いる材料 ※ 再生クッションラン
・ 切込砂利又は切込砕石
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度 ※ 18N /mm2
スランプ
現場打ちの場合の鉄筋
種別の記号 ※ SD295A
排水網が現場打ちの場合の足掛け金物
材料 ※ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 合成樹脂樹脂加工を行った足掛け金物
連上閉鎖用に関する材料
砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない

⑥

グレーチング

材料 (鋼製、ステンレス製) ・ 用途 (溝ふた [橋脚用、側溝用]、歩みた、U字溝用) ・ 適用荷重 (T-6) ・ 形式 (没時付きボルト固定の有無) ・ メンバーピッチ (幅目、普通目) ・ 上面形状 (凸凹形、平形) は、図示による (品質・性能等) <鋼製のグレーチング>

項目	品質・性能
メンバー、サイドバー及びエンドブレード	JIS 5 3101 SS400 またはこれと同等の性能を有すること
クロスバー	JIS 5 3101 SS400又はJIS 5 3505「軟鋼線材」500mm又はこれと同等の性能を有すること
受け枠用アングル材	JIS 5 3101 SS400又はJIS 5 3132「鋼管用開閉圧縮高鋼鋼板」50H 変位性上げとする場合は、樹脂系塗料
滑散面めっきの付着量	JIS H 5641「滑散面めっき」による試験において滑散面めっきの量が0. 02755g以上又は、0. 0275g以上
アンカー	開端 側溝の場合500mm内外 ふた 幅及び長さの許容差 ±3. 0mm
荷重性能	設計荷重の1. 5倍までの加力に対して、滑接部のはずれ等その他の異常がないものとする

<ステンレス製グレーチング>

項目	品質・性能
メンバー	JIS 5 4300、JIS 5 4304、JIS 5 4305、JIS 5 4308、もしくはJIS 5 4318に基づく SUS304又はJIS 5 4304、もしくはJIS 5 4305に基づく SUS430J/L
クロスバー	JIS 5 4300、JIS 5 4304、JIS 5 4305、JIS 5 4308、もしくはJIS 5 4318に基づく SUS304又はJIS 5 4304、もしくはJIS 5 4305に基づく SUS430J/L
エンドバー、サイドバー	メンバー及びクロスバーの材質並びにJIS 5 4317「熱間成形ステンレス鋼板」もしくは、JIS 5 4320「冷間成形ステンレス鋼板」に基づく規定する SUS304又はJIS 5 4304、JIS 5 4305に基づく規定する SUS430J/L
受け枠用アングル材	JIS 5 4304、JIS 5 4305、JIS 5 4317、JIS 5 4320の SUS304又はJIS 5 4304、JIS 5 4305の SUS430J/L
アンカー	JIS 5 3101 SS400 ・ 側溝の多い地区は障害に対する防錆処理を行う
表面仕上げ	開端 側溝の場合500mm内外 ふた 幅及び長さの許容差 ±3. 0mm
荷重性能	設計荷重の1. 5倍までの加力に対して、滑接部のはずれ等その他の異常がないものとする

(荷重試験方法)
(1) 荷重条件
(2) 鋼板溝の設計荷重は、下表に示す荷重を考慮した荷重とする。
(3) 鋼板溝の設計荷重は、下表に示す荷重一輪荷重とする。
歩道車道
区分 荷重 種別 後輪一輪荷重 (K N) 側溝を考慮した荷重 (K N) 後輪設置面積 (c m)
車道 T-20 70. 5 109. 8 20×50
T-14 54. 9 75. 9 20×50
T-6 23. 5 33. 0 20×24
T-2 7. 8 11. 0 20×16
歩道 4. 903N /m2の等分布荷重
(2) 許容曲げ応力度
許容曲げ応力度は、実態する試験体のメンバー材と同一材質で行った材料強度試験体力値/ mm2 (kgf/cm2) データにより設定する。
(3) 荷重試験
試験方法 試験体への加力
イ) 設計荷重を基準として方向に繰返し加力を行う。加力速度は、原則として400N/s (0. 5tf/秒) とする。
ロ) 繰り返し加力は、3回行った後、残荷重のみを維持する。
ハ) 上記ロ) を行った後、設計荷重の1. 5倍まで加力し、滑接部のはずれ等その他の異常について確認する。
性能基準
イ) 設計荷重等の3回繰返し荷重後のひずみ度の判定基準は、「(2) 許容曲げ応力度」より定める。(この時のヤング係数は、鋼材・200kg/mm2 (2. 1×10^8kgf/cm2)、ステンレス鋼材・212N/mm2 (2. 16×10^8kgf/cm2) を用いる)
ロ) 設計荷重の1. 5倍までの加力に対して、滑接部のはずれ等その他の異常がないこと。
(4) 試験体
溝ふた、U字溝ふたとし、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。
イ) 溝ふた 横断面用 T-20~T-2のうち1体
歩道用 1体
側溝用 T-20~T-2のうち1体
ロ) U字溝用 側溝用 T-14~T-2のうち1体
歩道用 1体
(5) 材料強度試験について
グレーチングの荷重耐力試験に先立ち、グレーチングの試験体に用いたメンバー材の体力を確認するため、下記のイ) の試験またはロ) の試験データを提供する。
イ) 試験体試験に使用したものと同様のグレーチングの荷重耐力試験に先立ち、下記により材料強度試験を行う。
材料試験体試験: 試験片はJIS Z 2241「金属材料引張試験方法」による。また、試験片数は各3本とする。
試験方法: JIS Z 2241に基づく耐力及び引張り強さをとする。ただし、ステンレス材の耐力は、JIS Z 2241に示すオフセット法で算出した0. 2%耐力とする。
ロ) 試験体試験に使用したものと同様の試験を上記 (1) と同様の試験を行ったデータがある場合は、そのデータを提供する。
(6) グレーチング荷重試験の試験体試験の大きさについて
溝幅に直交方向の寸法は、原則として1 m程度とする。

⑦

路床

⑧

路盤

⑨

アスファルト舗装

路床の材料

(22. 2. 2. 3.) (表 22. 2. 2. 1.)

種別	材料	厚さ (mm)
○盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示
・ 連上閉鎖用	・ 再生クッションラン ・ クラッシュラン	※ 図示
・ フィルター層	・ 切込み砂利 ・ 砂	※ 図示
・	・ 標準仕様書22. 2. 3)による	・

連上閉鎖用に関する材料に砂を用いる場合の粒度試験
行う ・ 行わない
路床安定処理の方法
・ 追加材料による安定処理
種別 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)
添加量 ・ kg/m3 (自給C B R 3以上 ・)
目標C B R を満足する添加量の確認方法
・ 安定処理土のC B R 試験
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60 g /m2以上
厚さ (mm) ・ 0. 5~1. 0
引張強度 ・ 98N /5cm (10k g f /5cm) 以上
透水係数 ・ 1. 5×10^-5 cm /s e c以上

路盤の材料の種類

○ クラッシュラン

・ 粒度調整砕石

※ 再生クッションラン

・ 再生粒度調整砕石

・ クラッシュラン鉄鋼スラグ

・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

路盤強度の度の試験 ※ 行う ・ 行わない

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 (22. 4. 2~6.) (表 22. 4. 4.)

材料

アスファルト ※ 再生アスファルト (種類 ※ 60~80 ・ 80~100)

・ ストレートアスファルト

骨材

※ 連上閉鎖用石

※ アスファルトコンクリート再生骨材

加熱アスファルト混合物等の種類

・ 密粒度アスファルト混合物 (13)

○ 細粒度アスファルト混合物 (13)

・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)

試験

アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ○ 行わない

舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

特記事項

DRAWN BY

CHECKED BY

APPROVED BY

(有)高木建築設計事務所
TAKAGI ARCHTTECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461
〒725-0026 竹原市中央 2-11-16
設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

令和 7年 8月 31日

JOB NAME

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図

NO

A-04b

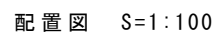
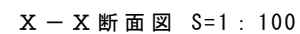
DRAWING TITLE

建築工事特記仕様書 4

SCALE



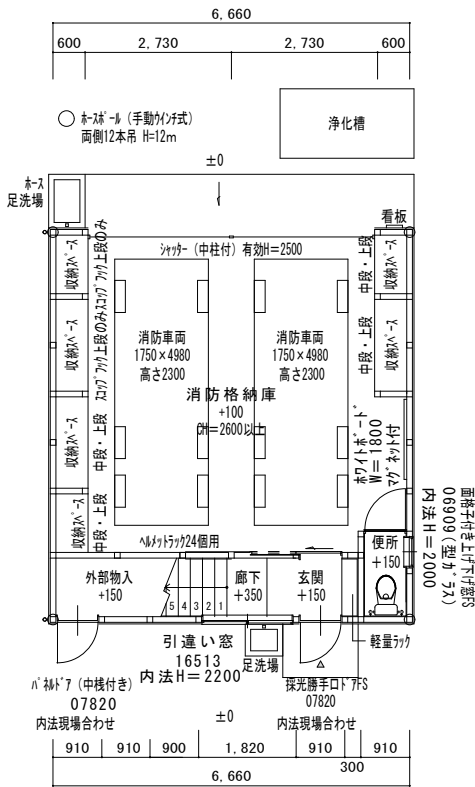
Y - Y 断面图 S=1 : 100



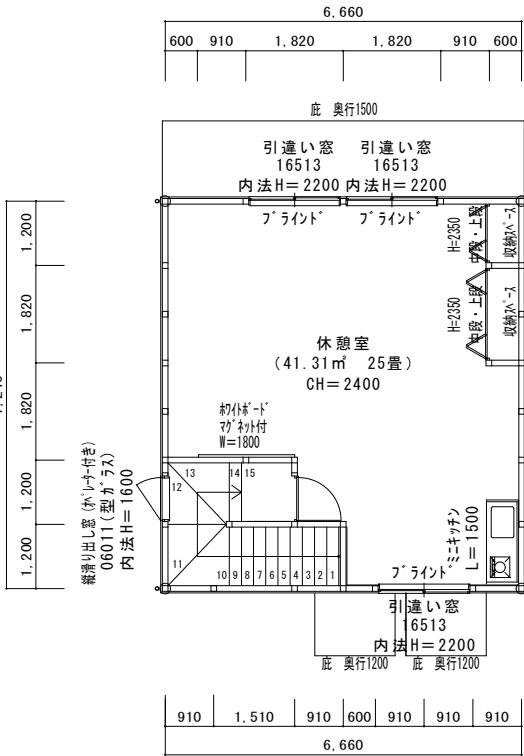
敷地面積計算表	建築面積計算表
28.00 × 8.00 = 224.0000	6.66 × 7.24 = 48.22
28.00 × 8.10 = 226.8000	6.66 × 0.50 = 3.33
450.8000	1.50 × 0.20 = 0.3
450.8000 ÷ 2 = 225.4000	1.50 × 0.20 = 0.3
	52.15

特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC. TEL 0846(22)6461 〒725-0025 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO
					DRAWING TITLE 配置図、附近見取り図		SCALE 1:100	A-05

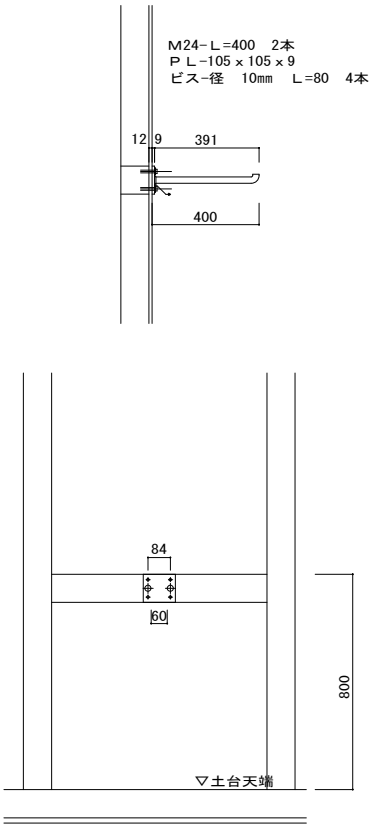
建物概要											
建築主	竹原市長 今榮敏彦	防火指定	指定なし 22条区域	基礎形式	鉄筋コンクリートベタ基礎	建築面積	51.81㎡	屋根	ガルバリウムカラー鋼板 厚0.35mm 立平置き勾配2.5寸	開口部	アルミサッシ(既製品) ガラス：ペアガラス L3+A16+L3
建築場所	竹原市吉名町	その他	指定なし	最高の軒高	6,255mm	1階床面積	48.22㎡	外壁	防火が施り防火構造 (認定番号P000066-4001) 参考品番：ニチハ セルクルーフレシム同等品	雨樋	軒樋(塩ビ) 角型120 竖樋(塩ビ) 丸型75
都市計画	都市計画区域内 区域区分非設定区域	用途	消防屯所	最高の高さ	8,255mm	2階床面積	48.22㎡	軒裏	化粧石膏スラッグボード 厚5mm 参考品番：ニチハ エコスリット無孔板 同等品	床下換気	基礎パッキン 厚20mm 参考品番：城東テクノ KP-L102
用途地域	第1種住居地域	構造	木造2階建て	敷地面積	250.4㎡	延べ面積	96.44㎡	外部巾木	打放し仕上げ	看板	アルミサッシ仕上げ 240×1300×20
構造概要											
床の高さ	350mm	土台/大引	土台/大引き：ヒノキ(国産無垢材KD材) 105×105JAS規格品	管柱	ヒノキ(国産無垢材KD材) 105×105JAS規格品	2階、小屋梁	米松：KD材JAS規格品 梁つなぎ：乾燥材	天井下地	杉/赤松35×35	間柱	杉：KD材30×105
防湿方法	ポリエチレンフィルム 厚0.15	床束	鋼製束	通し柱	ヒノキ(国産無垢材KD材) 120×120JAS規格品	構造面材	通気シート+EXボードタイプ +通気金具留め工法	屋根垂木	米松/ヒノキ45×60		
		床下地	構造用合板(針葉樹) 24mm	胴差・梁・桁等	米松：KD材JAS規格品 梁つなぎ：乾燥材	床下地	構造用合板(針葉樹) 24mm	屋根下地	構造用合板(針葉樹) 12mm		
基礎仕様											
基礎コンクリート	JIS A5308 適合品 呼び強度 24N/mm2	立上がり部	幅150 横筋D10-@250 縦筋D13-@250								
使用鉄筋	異形鉄筋 JIS G3112 適合品	土間部	配筋D13縦横@250 スラブ厚み150 防湿フィルム厚 0.15mm以上								
地盤調査	調査済み										
地盤改良	深層改良 φ500mm、L=9.50m～11.50m、N=32 336mm、事前配合試験、一軸圧縮強度試験頭部3カ所、深部1カ所										
内部仕上											
	床	巾木	壁	廻縁	天井	天井高さ					
1階	消防格納庫	基礎スラブコンクリート直押え	コンクリート 型枠打放	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 EP塗り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,700	ヘルメットラック：参考品番 谷沢製作所エコラックST#820 3ヶ所 約1枚ボード：1800×900 粉受タイプ 参考品番 KOKUYO BB-H936W			
	収納スペース 床なし	基礎スラブコンクリート直押え	同上	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 EP塗り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,700	スコップフック M24 4カ所			
	収納スペース 床あり	構造用合板(針葉樹) 24mm 押入用パネル	雑巾摺 杉 20×30	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 EP塗り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,700	中段、上段			
	便所	基礎スラブコンクリート直押え 厚み4.3mm サゲッ フリックスシート同等品	コンクリート 型枠打放	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 EP塗り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,400	ウオッシュレット、紙巻き器、タオル掛け			
	玄関 外部物入	基礎スラブコンクリート直押え モルタル仕上げ	コンクリート 型枠打放	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 ビニールクロス貼り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,600	(玄関) 軽量ラック：W900×D300×H1800 参考品番 KOKUYO MI26315N			
	上り床	構造用合板(針葉樹) 24mm 桧板張り t15	MDF	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 ビニールクロス貼り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,400	上がり框 参考品番：タハラ同等品桧 無節 積層材 桧 無節 積層材 1200×120×90			
2階	階段	参考品番タハラ 桧積層 無節 段板 36mm け込み板 12mm 手摺：35φ 姫松	t30×巾240	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 ビニールクロス貼り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828		階段：踏面=225.5、蹴上=214			
	階段上り部	構造用合板(針葉樹) 24mm 桧板張り t15	MDF	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 ビニールクロス貼り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,400				
	休憩室	構造用合板(針葉樹) 24mm 桧板張り t15	MDF	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 ビニールクロス貼り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,400	ベネシアンライト スラット 25mm、ミキサシL=1500 参考品番：LIXIL DMK15LEWE1G100L 約1枚ボード：1800×900 粉受タイプ 参考品番 KOKUYO BB-H936W			
	収納スペース	構造用合板(針葉樹) 24mm 押入用パネル	雑巾摺 杉 20×30	プラスターボード t12.5 不燃HM-8619 ビニールクロス貼り	塩ビ	化粧プラスターボード t9.5 準不燃QM-9828	2,400	中段、上段			
外構仕上											
フェンス	Aメッシュフェンス H=1500 参考品番：朝日ARフェンス										
ホース乾燥塔	NAホースボール 標準ウインチ両側12本吊										
足洗い場	ホース足洗場 防水モルタル仕上げ 600×1500×200 足洗場 防水モルタル仕上げ 700×600×100										
特記事項											
DRAWN BY				CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 〒725-0026 竹原市中央2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録2(1)2274		令和 年 月 日 JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO A-06	
DRAWING TITLE 建築概要、構造概要、基礎仕様、内部仕上、外構仕上								SCALE			

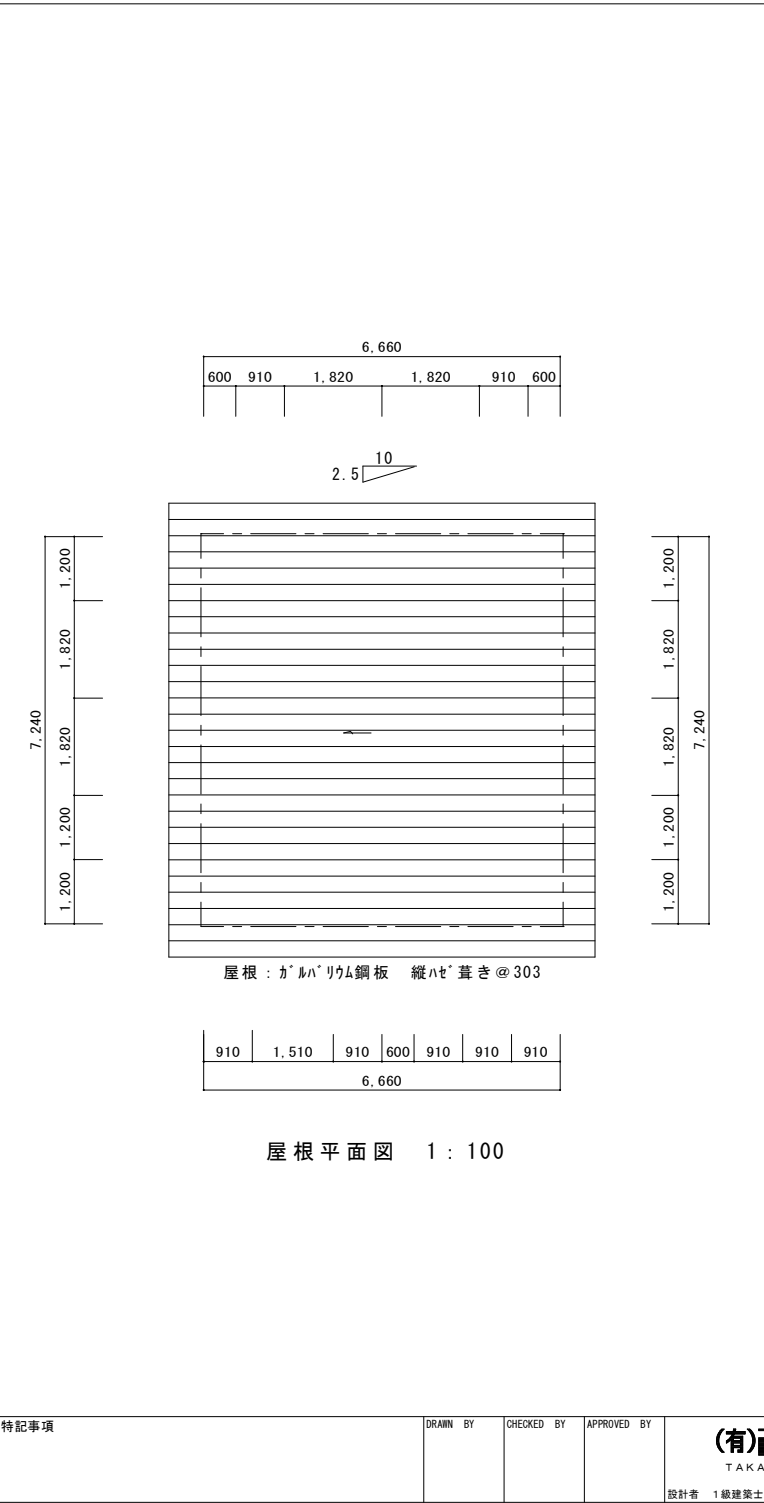


1 階平面図

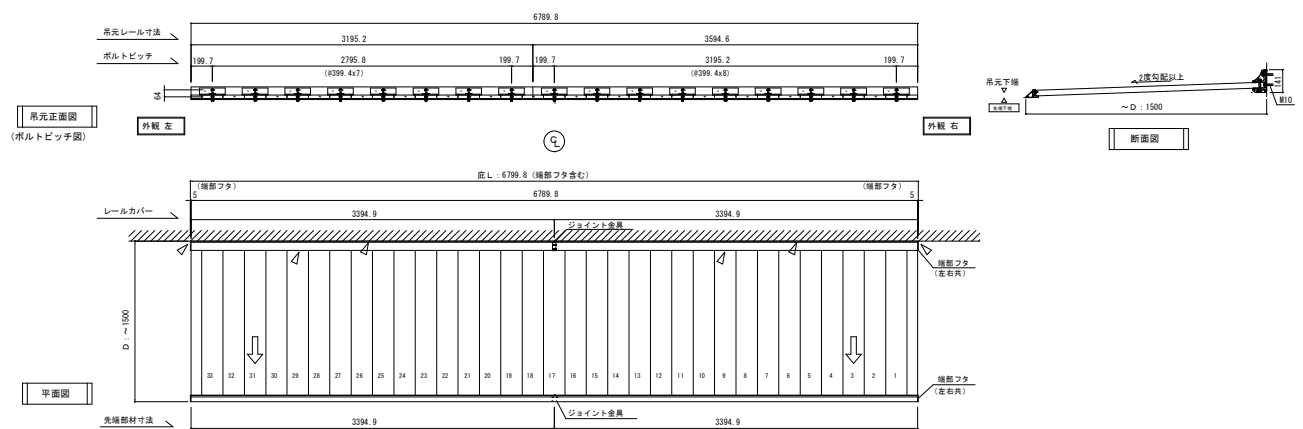


2 階平面図



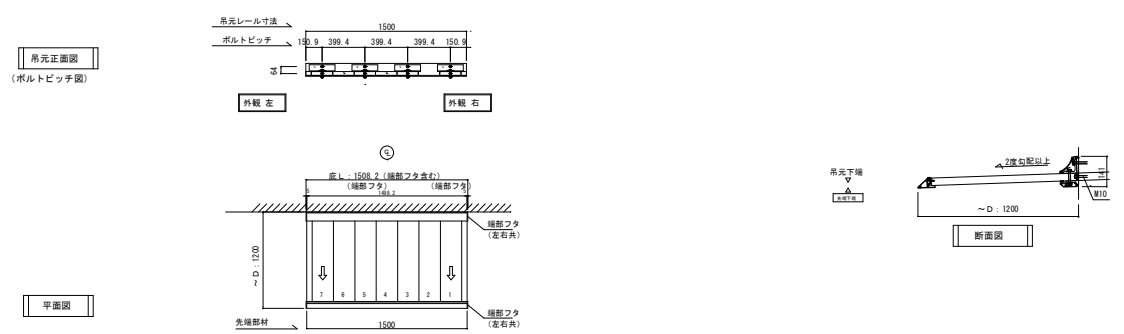


アルミ庇詳細図 W6800×D1500 1カ所
1：50

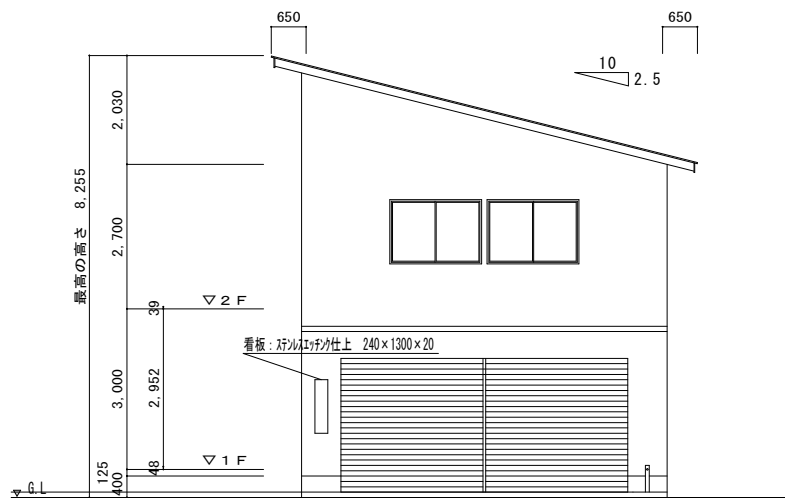


参考品番：アルフィン庇AD1N同等品

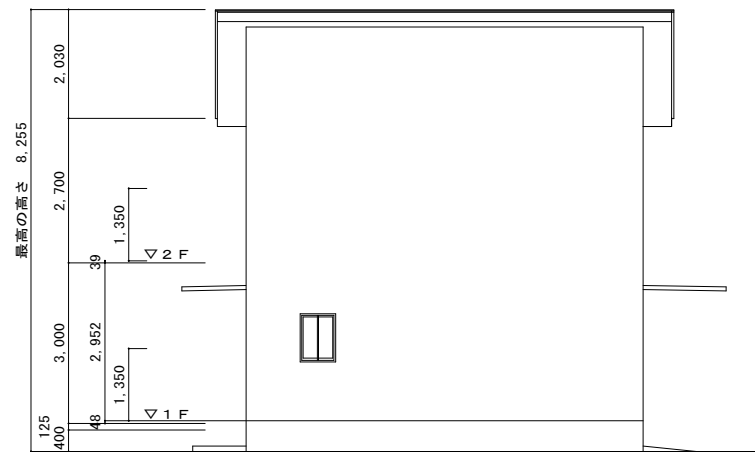
アルミ庇詳細図 W1500×D1200 2カ所
1：50



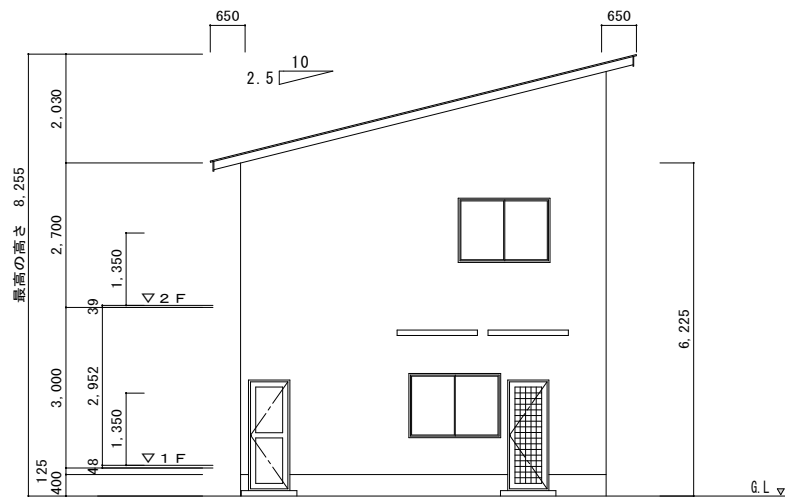
参考品番：アルフィン庇AD1N同等品



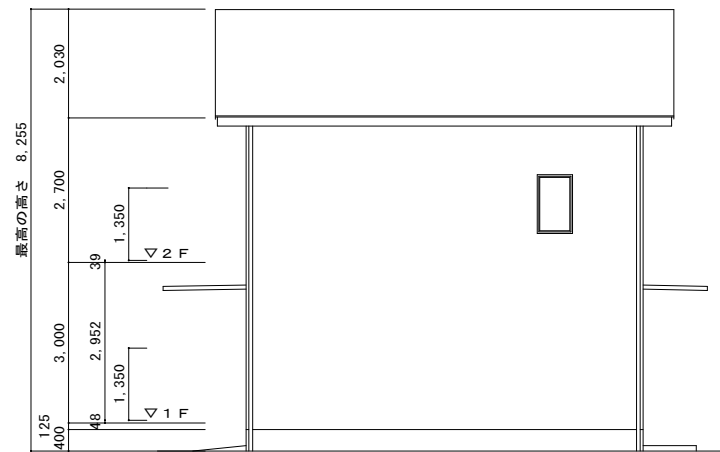
北側立面図



東側立面図



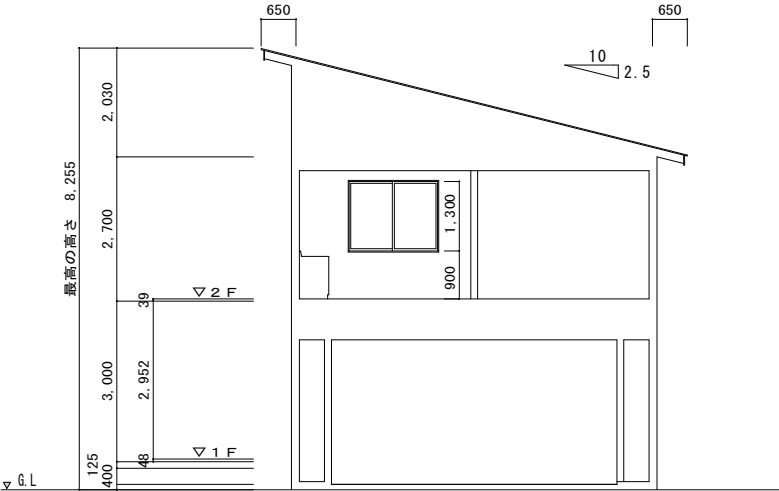
南側立面図



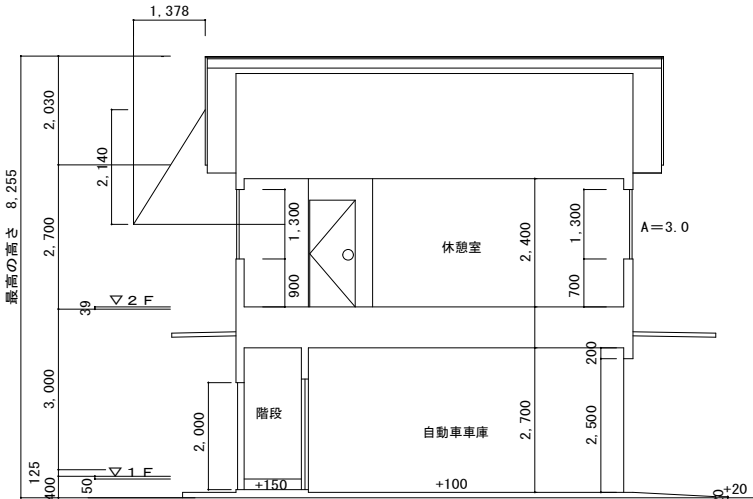
西側立面図

特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC. TEL 0846(22)6461 〒725-0026 竹原市中央2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME	竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図	NO A-09
					DRAWING TITLE	立面図(4面)	SCALE	1:100

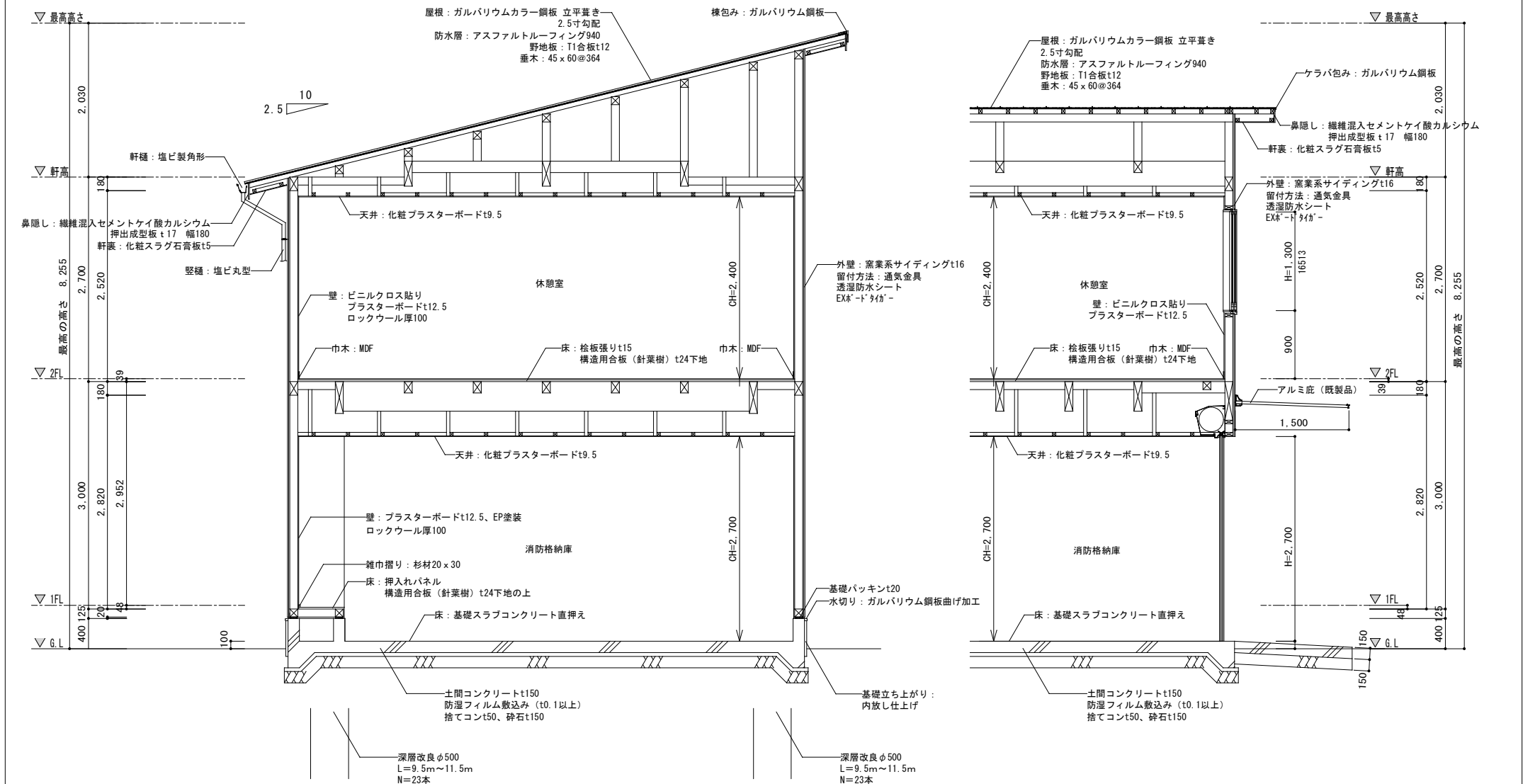
$A = d / h \times \alpha - \beta$
 $A = 1.378 / 2.140 \times 6 - 1.4$
 $A = 2.464$
 $W \times A = 1.65 \times 1.3 \times 2.464$
 $W \times A = 5.28829$
 $S : 41.31 = 41.31 / 10 < (5.28829 + 1.65 \times 1.3 \times 3 \times 2)$

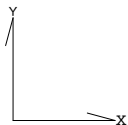


北側立面図



東側立面図





見附面積に対する存在壁量					
階	方向	見附面積		計	合計
1	X	36.559m ²	2.7×0.6×7=11.34	11.34	19.49
			2.7×(1.21+1.81)×1=8.154	8.15	
			2.7×(1.51×2+6.66-1.82)×1=21.222	21.22	
2	X	16.248m ²	2.7×(7.24+7.24-0.69)×1=37.233	37.23	21.22
1	Y	49.490m ²	2.7×(7.24+7.24-1.2)×1=35.856	35.85	37.23
2	Y	27.420m ²	2.7×(7.24+7.24-1.2)×1=35.856	35.85	35.85

(地震力に対する) 4分割法の壁量判定表					
	階	方向	側端部分 (上)	側端部分 (下)	判定
床面積	1	48.22			
	2	48.22			
存在壁量	1	X	2.7×0.6×4=6.48	2.7×(1.21+1.81)×1=8.154	6.48/8.15=0.8<0.5 OK
	2		2.7×(1.51+1.51+0.6)=9.747	2.7×(3.93+0.91)×1=13.068	9.747/13.07=0.7>0.5 OK
	階	方向	側端部分 (右)	側端部分 (左)	判定
存在壁量	1	Y	2.7×7.24×1=19.548	2.7×(7.24-0.6)×1=17.928	17.93/19.55=0.9>0.5 OK
	2		2.7×(7.24-1.2)×1=13.28	2.7×7.24×1=19.548	13.28/19.55=0.7>0.5 OK

2階建ての1階部分における柱の検討				
N=(A1+α1)×B1+(A2+α2)×B2-L				
1	柱番号	N=(A1+α1)×B1+(A2+α2)×B2-L		
		A1、A2 2.7 B1、B2 0.8 α1、α2 0 L 1.0	Nの値	必要耐力(kN)
	1①～1④	N=(2.7+0)×0.8+(2.7+0)×0.8-1.0=3.32	(ち) 3.7以下	20.0
	柱番号	N=(A1+α1)×B1+(A2+α2)×B2-L		
		A1、A2 2.7 B1、B2 0.5 α1、α2 0 L 1.6	Nの値	必要耐力(kN)
	1⑤～1⑧	N=(2.7+0)×0.5+(2.7+0)×0.5-1.6=1.10	(に) 1.4以下	7.5
	1⑨～1⑪	N=(2.7+0)×0.5+(2.7+0)×0.5-1.6=1.10	(に) 1.4以下	7.5
	1⑫～1⑬	N=(2.7+0)×0.5+(2.7+0)×0.5-1.6=1.10	(に) 1.4以下	7.5
	1⑭～1⑮	N=(2.7+0)×0.5+(2.7+0)×0.5-1.6=1.10	(に) 1.4以下	7.5
	1⑯～1⑰	N=(2.7+0)×0.5+(2.7+0)×0.5-1.6=1.10	(に) 1.4以下	7.5
2	柱番号	N=(A1+α1)×B1-L		
		A1、2.7 B1、0.8 L 0.4	Nの値	必要耐力(kN)
	2①～2④	N=(2.7+0)×0.8-0.4=1.76	(へ) 1.8以下	10.0
	柱番号	N=(A1+α1)×B1-L		
		A1、2.7 B1、0.5 L 0.6	Nの値	必要耐力(kN)
	2⑤～2⑧	N=(2.7+0)×0.5-0.6=0.75	(は) 1.0以下	5.1
	2⑨～2⑰	N=(2.7+0)×0.5-0.6=0.75	(は) 1.0以下	5.1
	2⑱～2㉓	N=(2.7+0)×0.5-0.6=0.75	(は) 1.0以下	5.1
上記以外の柱			(ろ) 0.65以下	3.4

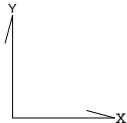
必要壁量算定表				単位 m	
床面積（地震力）に対する必要壁量					
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要壁量	
2	X	48.22	0.18	48.22 x 0.18=8.6796	12.055
	Y	48.22		48.22 x 0.18=8.6796	
1	X	48.22	0.37	48.22 x 0.37=17.8414	21.2168
	Y	48.22		48.22 x 0.37=17.8414	
見付面積（風圧力）に対する必要壁量					
階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要壁量	
2	X	16.248	0.50	16.248x0.50=8.124	13.71
	Y	27.420		27.420x0.50=13.71	
1	X	36.559		36.559x0.50=18.2795	24.745
	Y	49.490		49.490x0.50=24.745	

凡例		
記号	壁の構造	倍率
	構造用面材 タイガーバネ EX (7) 9.5mm	2.7

告示表3との対応	N値	必要耐力 (KN)	接合方法
(ろ)	0.65以下	3.4	スモークナII
(は)	1.0以下	5.1	コンパクトコナ
(に)	1.4以下	7.5	シコナ
(へ)	1.80以下	10	シコナ
(ち)	3.70以下	20	ビス止め鉄釘の金物20+アンカーボルトM16

*記載なき柱は全て (は) の金物

床面積表				単位 m ²
階	面積		計	
2	①	6.66×7.24	48.22	96.44
1	②	6.66×7.24	48.22	



存在壁量算定表					
階	方向	記号	倍率×長さ×箇所	計	合計
1	X		2.7×0.6×6	9.72	17.87
	Y		2.7×(1.21+1.81)×1=8.154	8.15	
2	X		2.7×(7.24+7.24-0.6)×1	37.47	37.47
			2.7×(1.51×2+0.6×2)×1	10.85	
	Y		2.7×(3.93+0.91)×1	13.07	
			2.7×(7.24+7.24-1.2)×1	35.86	35.86

特記事項

DRAWN BY
CHECKED BY
APPROVED BY

(有)高木建築設計事務所
TAKAGI ARCHITECT OFFICE, INC. TEL 0846 (22) 6461
〒725-0026 竹原市中央2-11-16
設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

令和 年 月 日 JOB NAME

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図

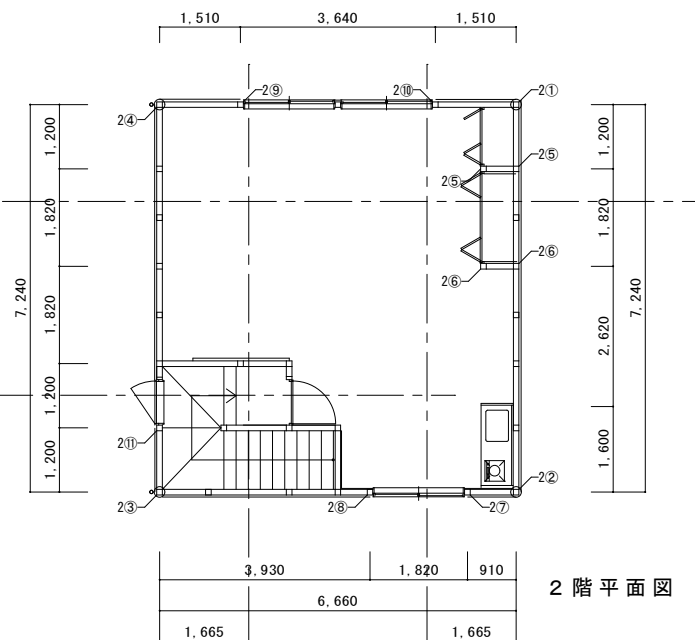
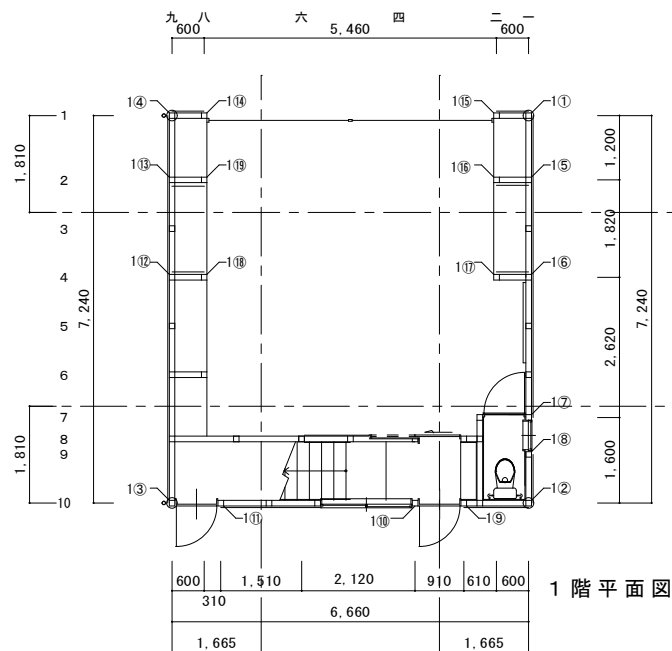
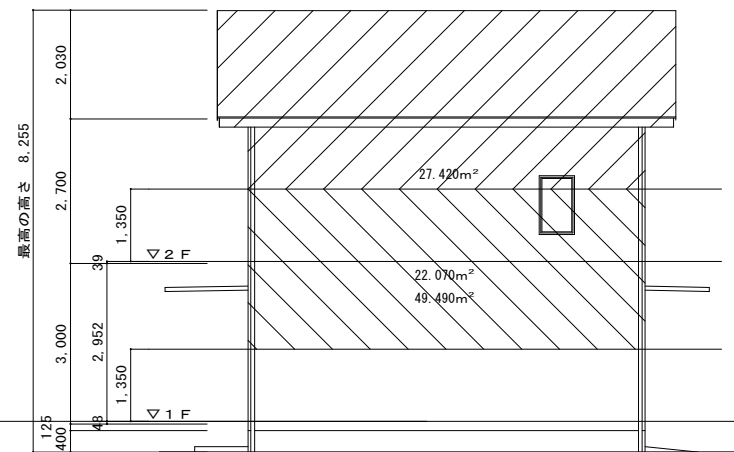
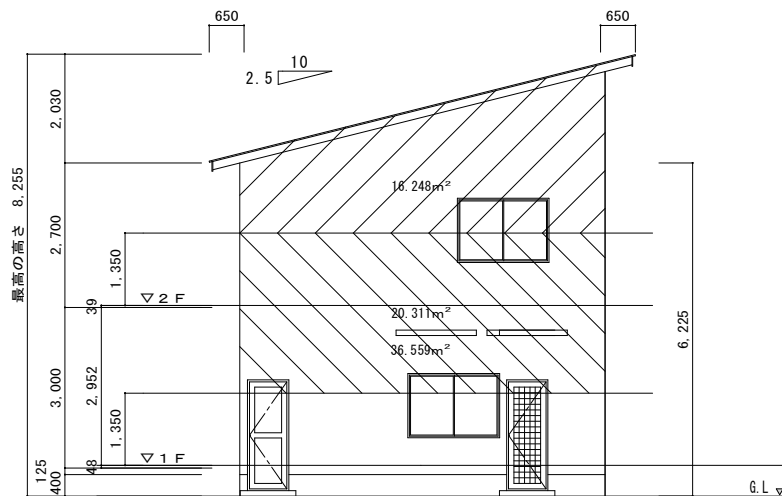
DRAWING TITLE

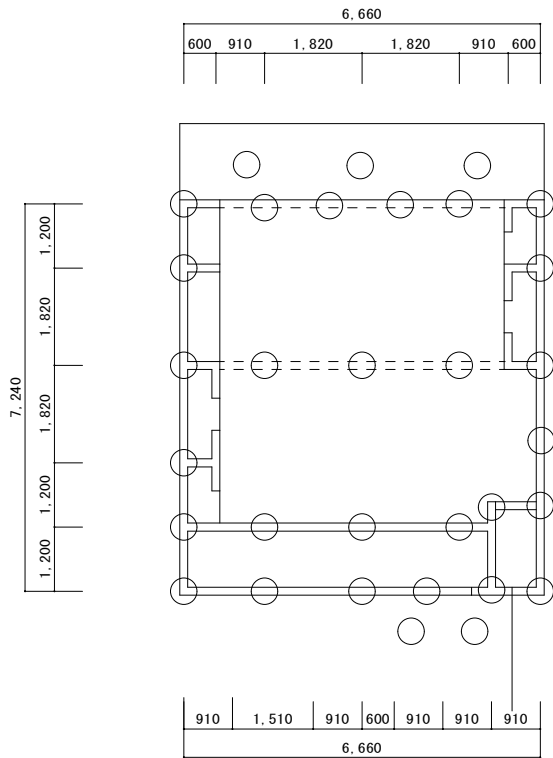
構造計算書

SCALE

NO

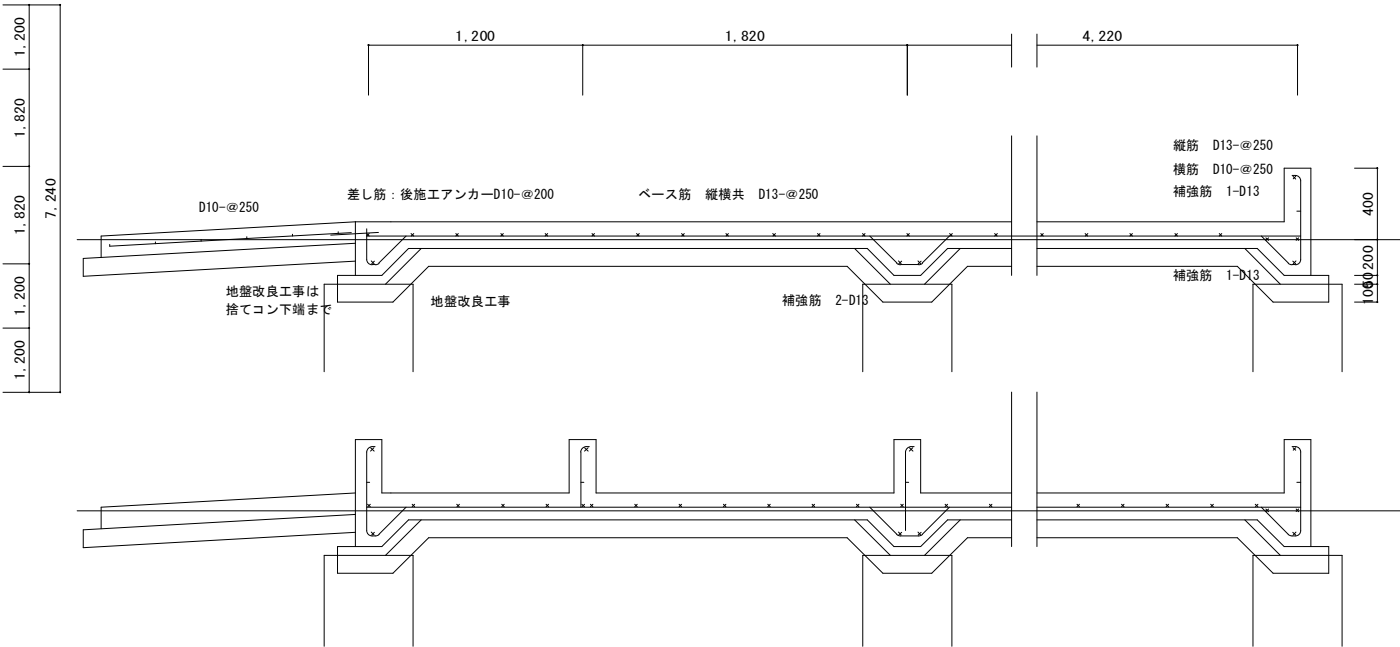
A-12



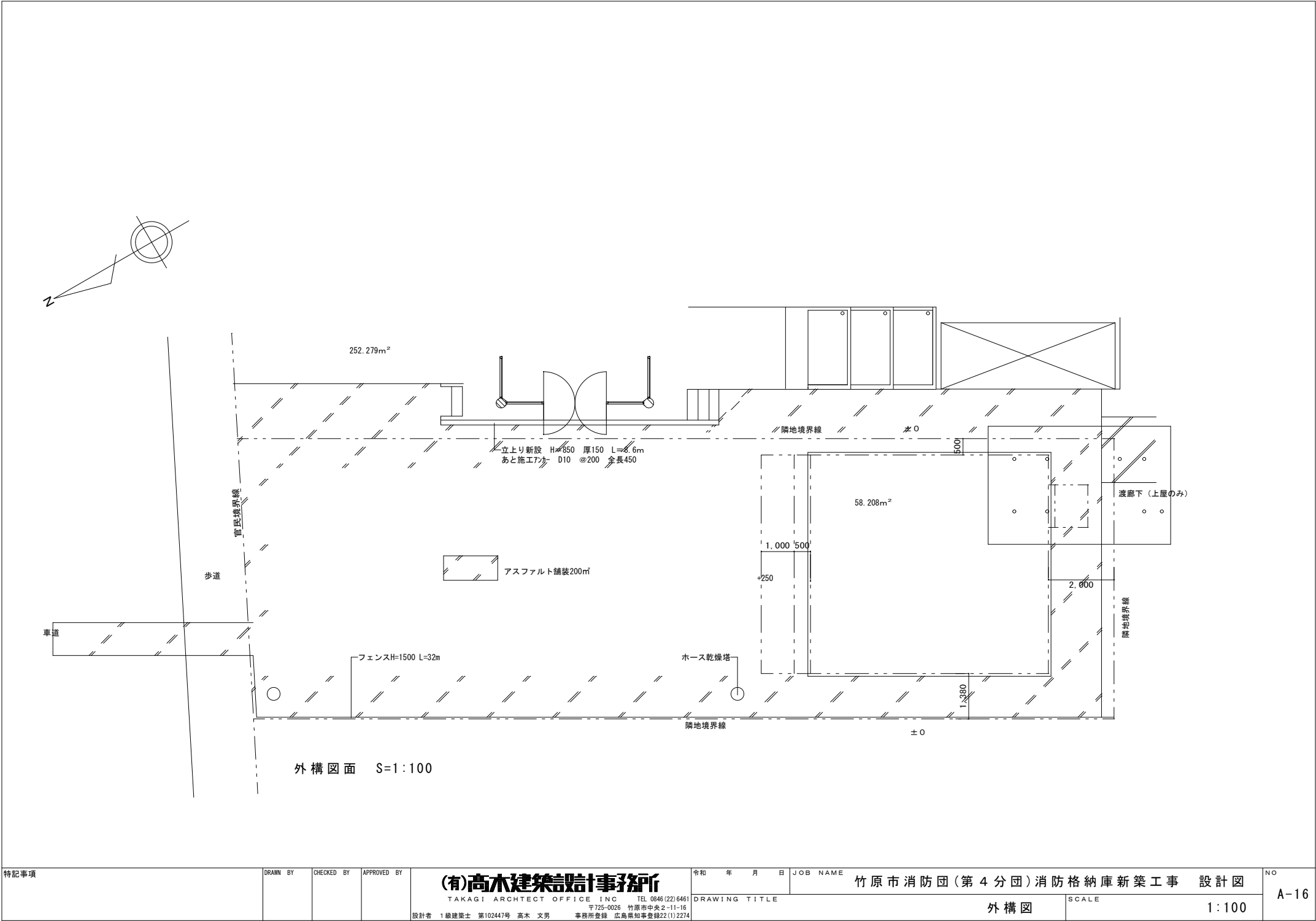


基礎伏図

○-地盤改良工事（深層混合処理工法）
改良径：φ500mm 改良深度L=9.50m～11.5m
施工本数：本体27本、建物外5本、計32本
設計基準強度 $F_c=1000\text{K}n/m^2$



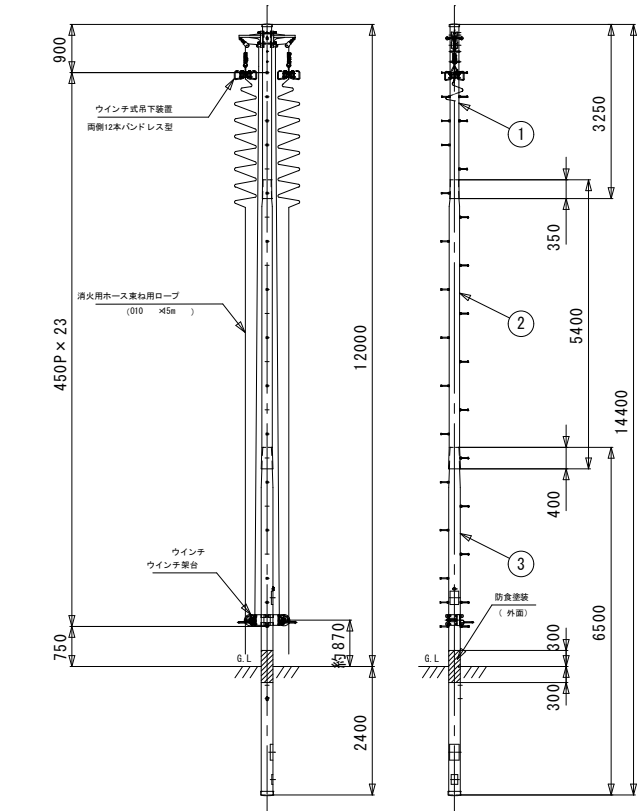
基礎断面図



特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846 (22) 6461 〒725-0026 竹原市中央2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME	竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO
					DRAWING TITLE	外構図	SCALE	1:100	A-16

ホース乾燥塔 1:100

参考品番：NAホスポール ウインチ式両側12本吊

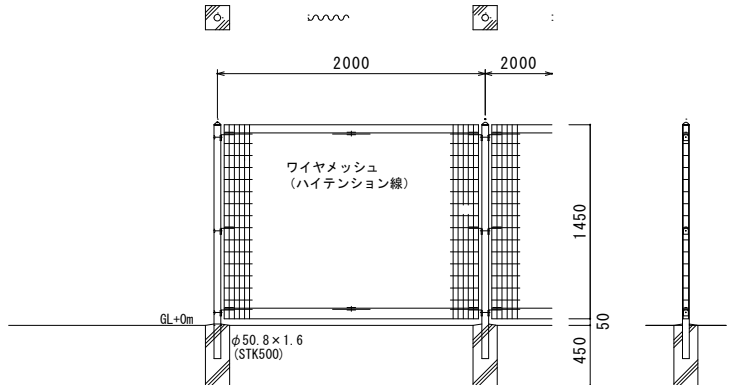


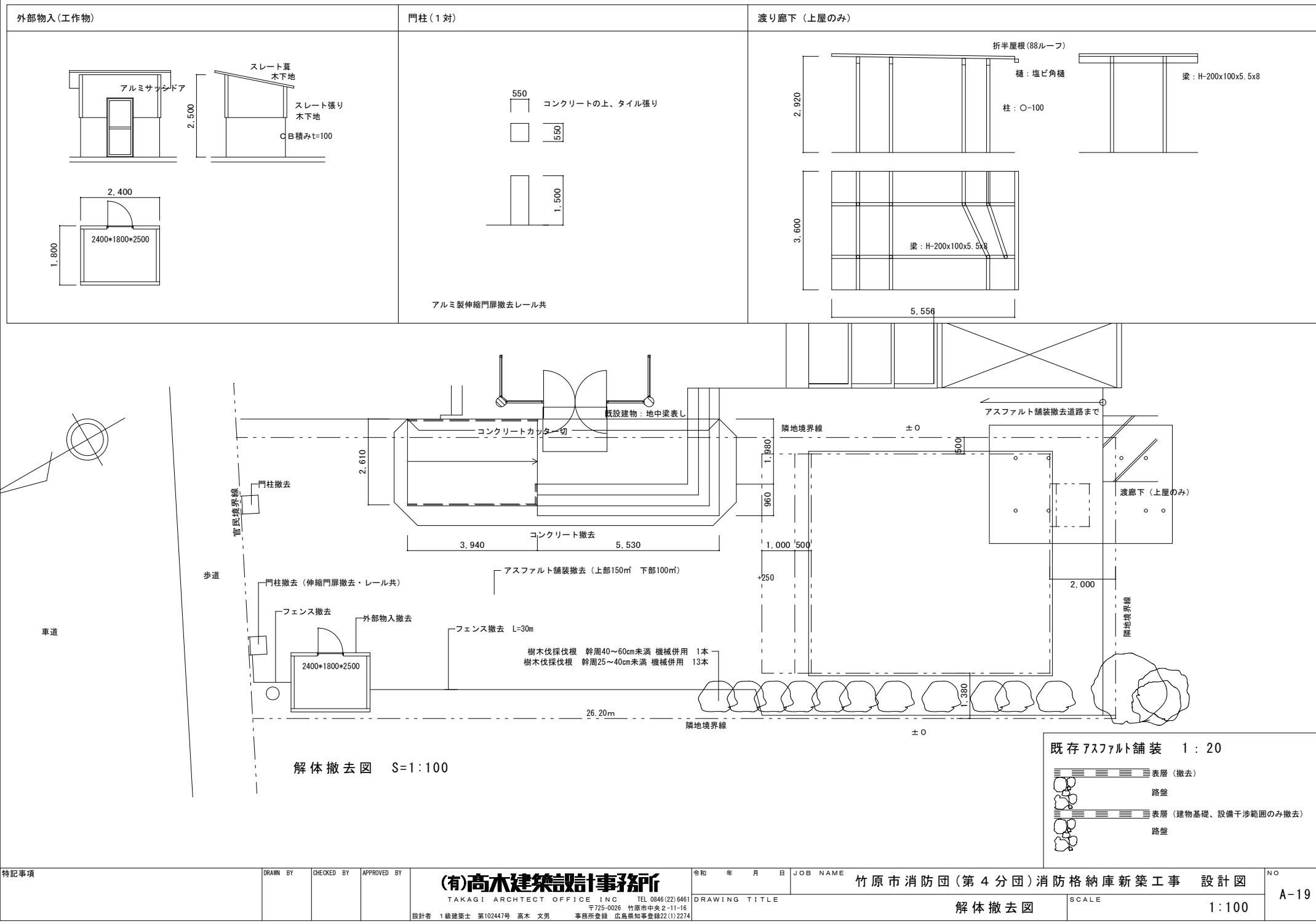
防食：環境配慮型塗料塗布（ノンタル系）
仕上：溶融亜鉛めっき63μm以上
（ポルト 亜鉛9μm以上）

3	φ216.3×4.5-6500	1	STK540	160kg
2	φ193×3.2-5400	1	STK480	85kg
1	φ165.2×3.3-3250	1	SK400	45kg
品番	品 名	個数	材 質	備 考

フェンス

参考品番：朝日ARフェンス同等品





特記事項

DRAWN BY

CHECKED BY

APPROVED BY

(有)高木建築設計事務所

TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461

〒725-0026 竹原市中央2-11-16

設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

令和 年 月 日

JOB NAME

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図

NO

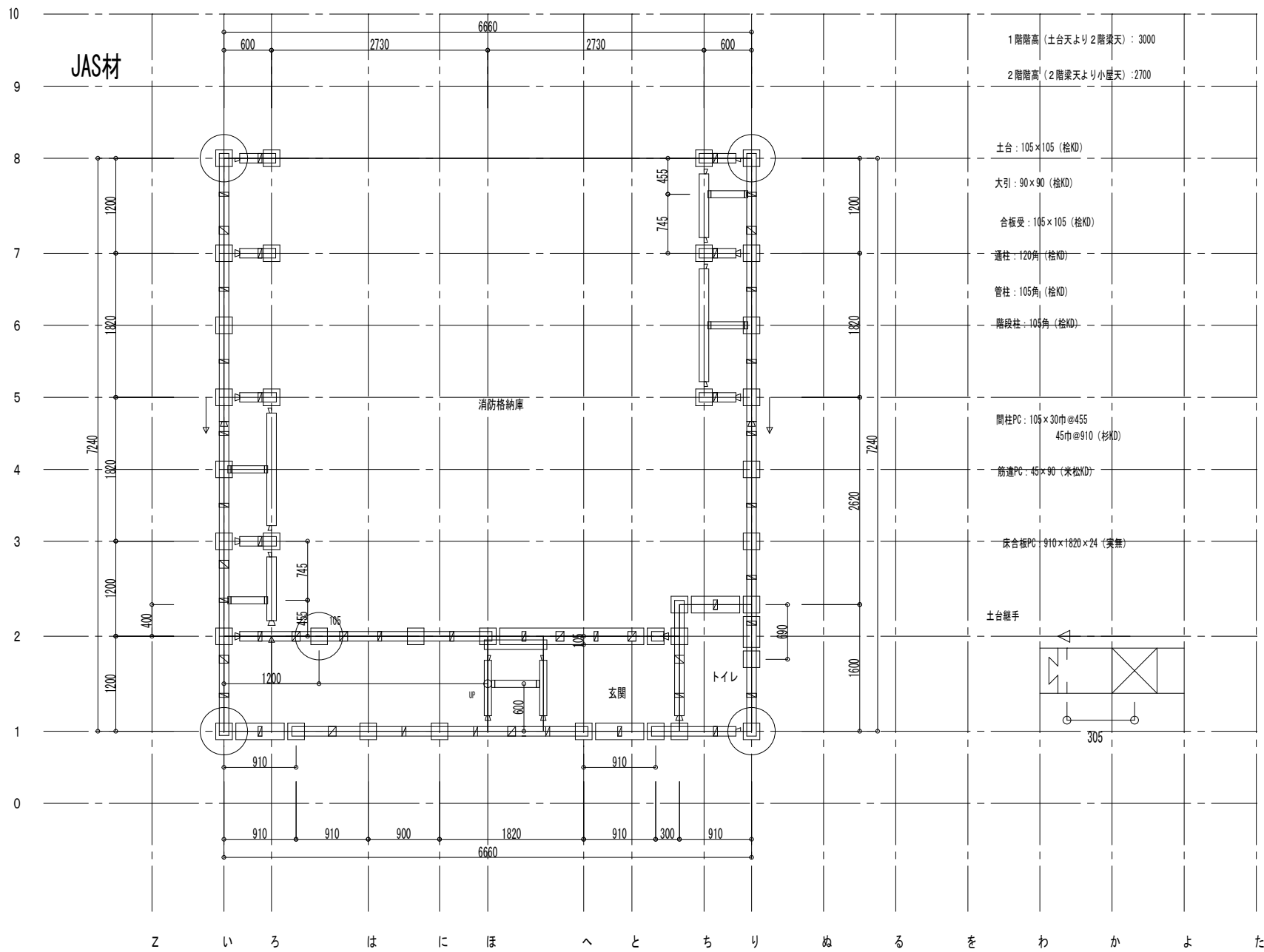
A-19

DRAWING TITLE

解体撤去図

SCALE

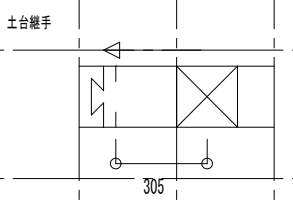
1:100



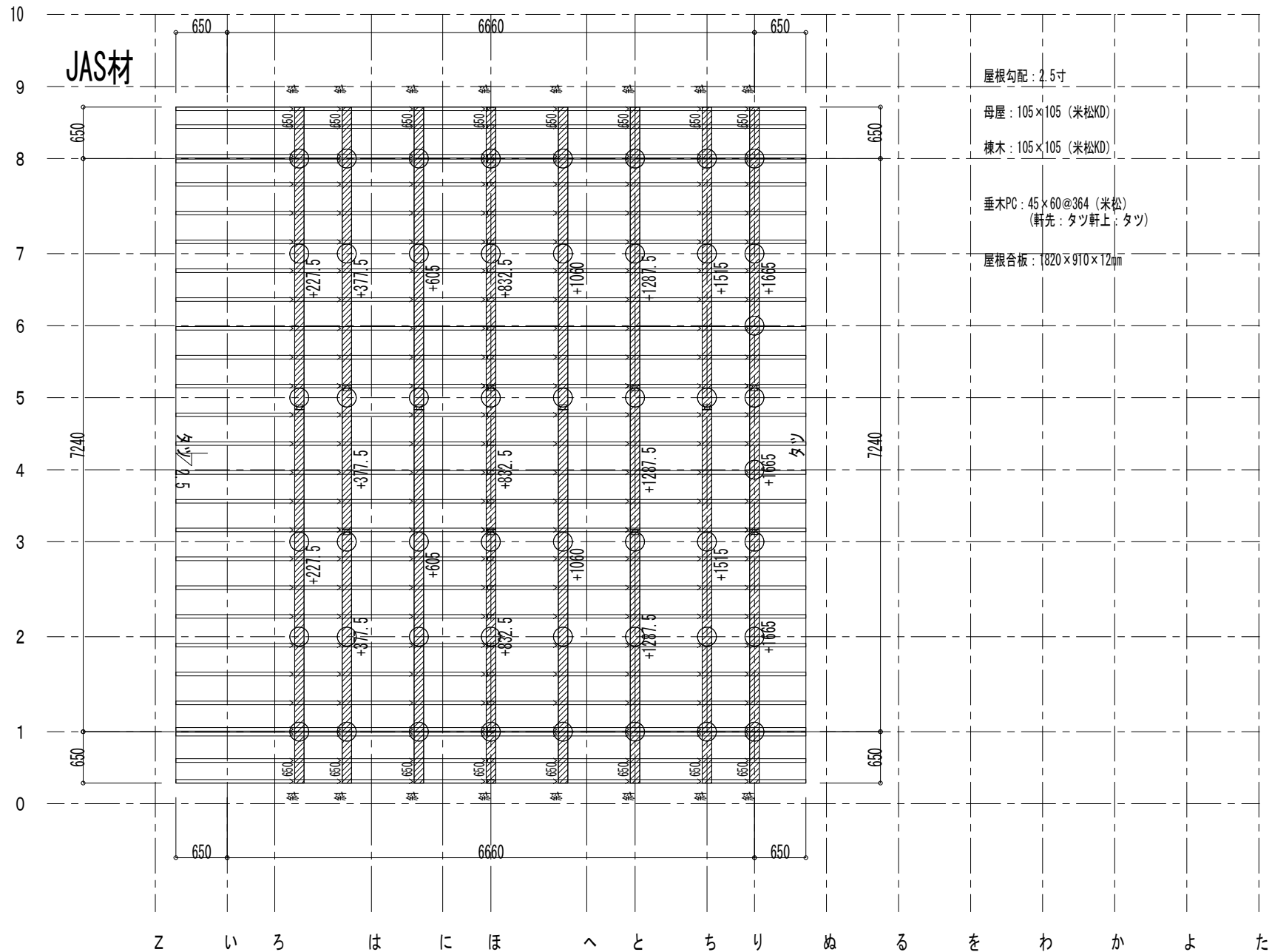
1階階高(土台天より2階梁天): 3000
2階階高(2階梁天より小屋天): 2700

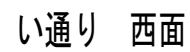
土台: 105×105 (桧KD)
大引: 90×90 (桧KD)
合板受: 105×105 (桧KD)
通柱: 120角 (桧KD)
管柱: 105角₁ (桧KD)
階段柱: 105角 (桧KD)

間柱PC: 105×30巾@455
45巾@910 (杉KD)
筋違PC: 45×90 (米松KD)
床合板PC: 910×1820×24 (実無)

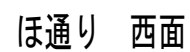


た よ か わ を る め ち り と へ と に ほ は い ろ

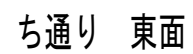




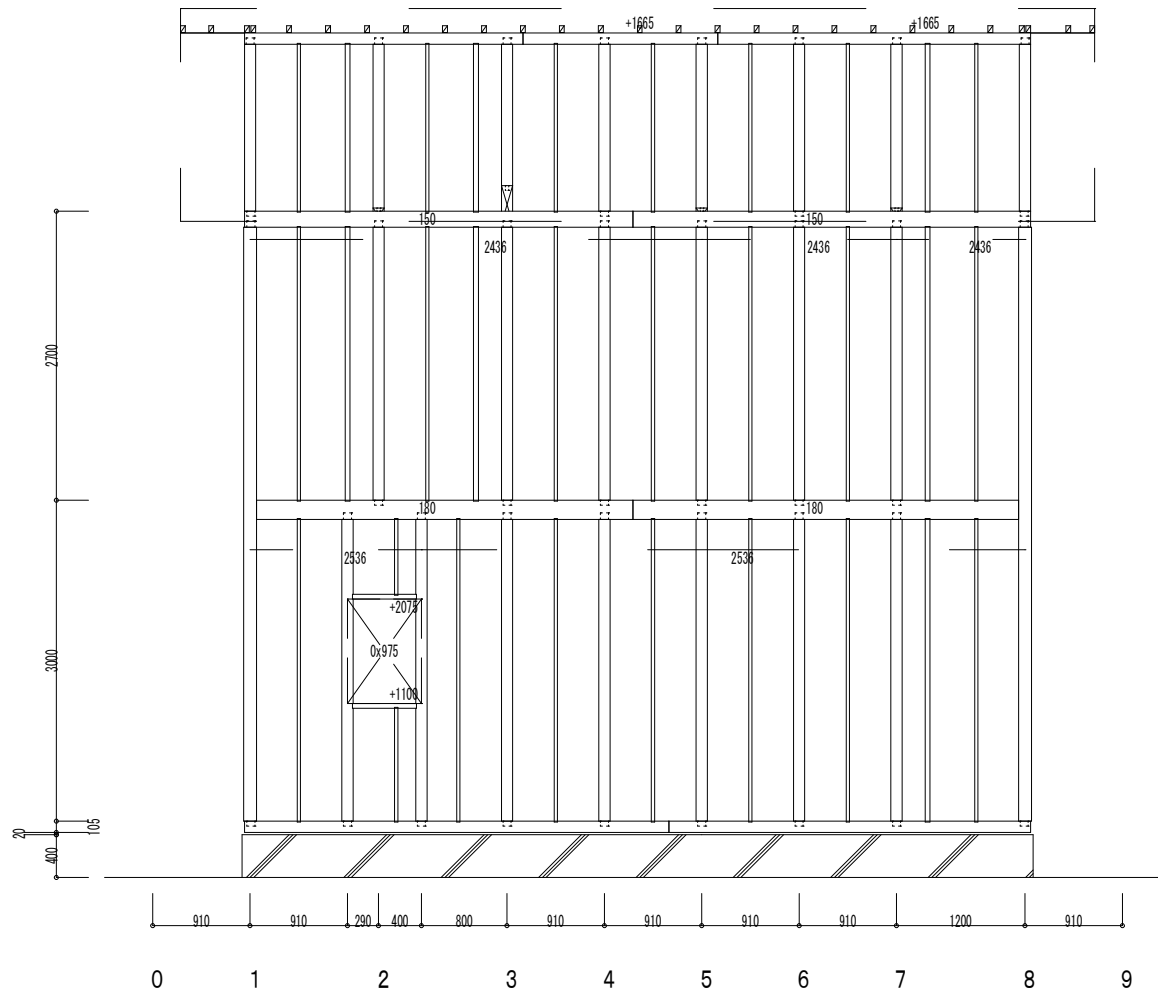
特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL.0866(22)6461 〒732-0026 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22-(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図	NO S-05
			DRAWING TITLE 断面図①い通り西面		SCALE 1:50		



特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	令和 年 月 日		JOB NAME	NO
	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0848(22)6461 〒725-0025 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274			DRAWING TITLE		SCALE	
				断面図2_ほ通り西面		竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図	S-06
						1:50	

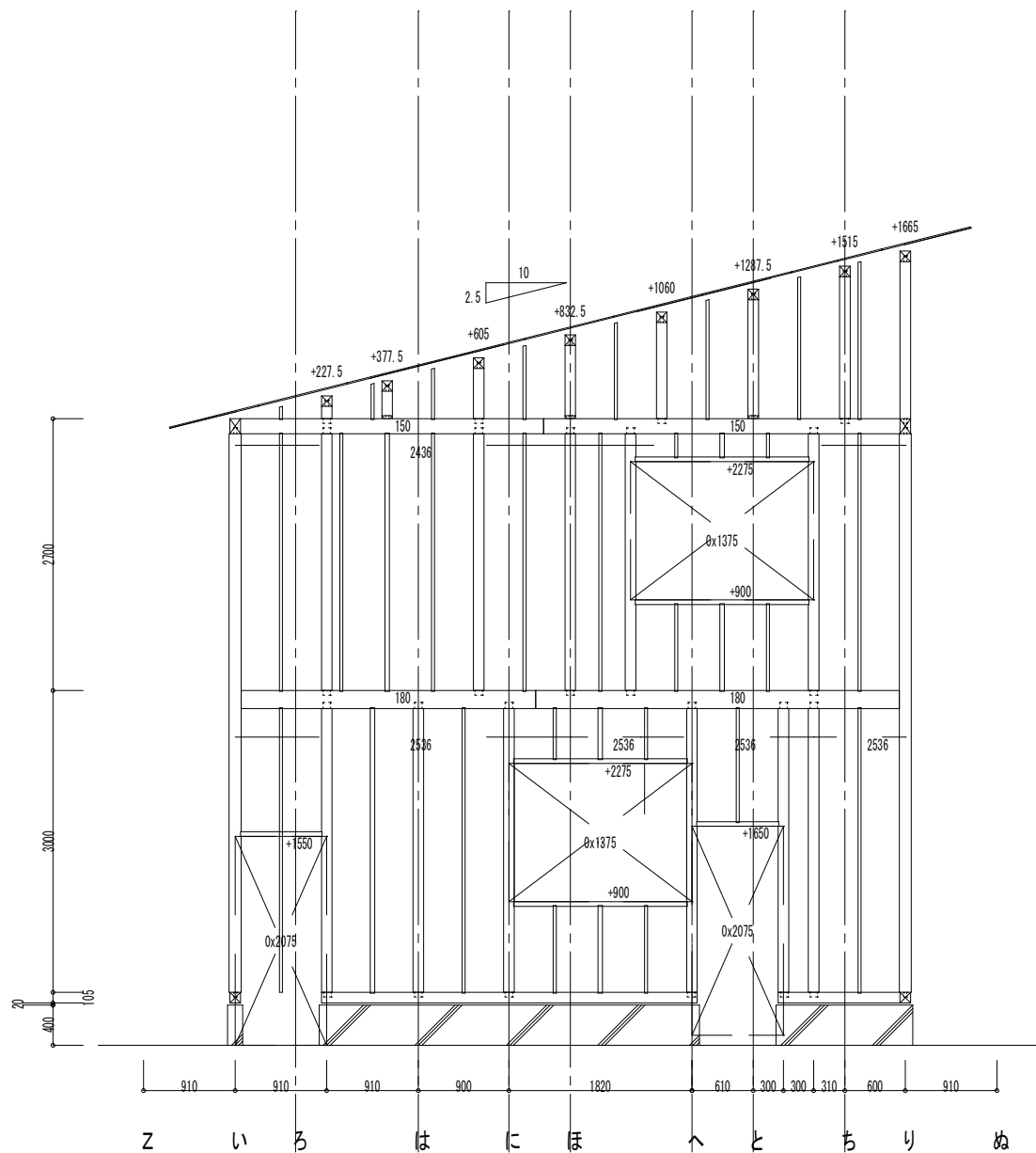


特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0848(22)6461 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME	竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO S-07
	DRAWING TITLE	断面図3_ち通り東面	SCALE		1:50				



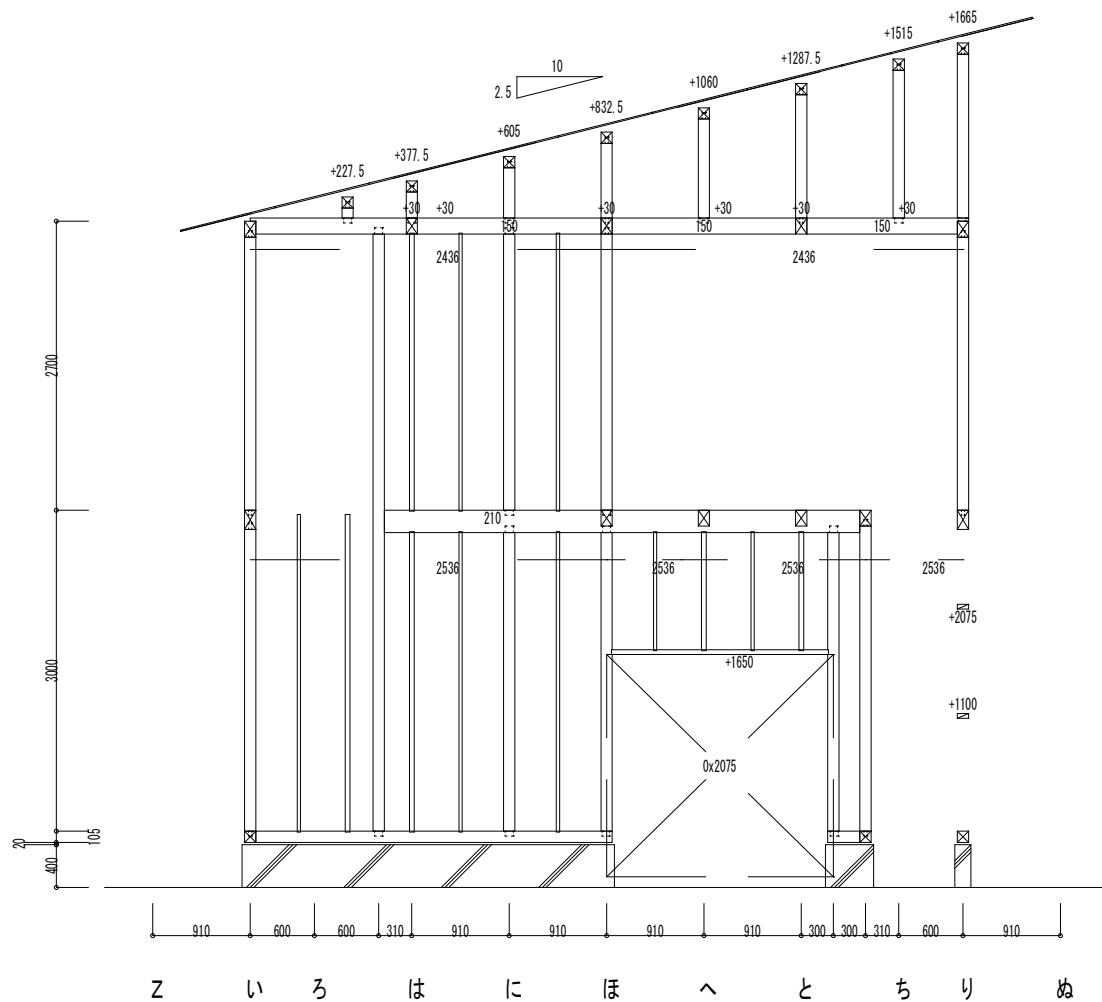
り通り 東面

特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME 竹原市消防団(第 4 分団)消防格納庫新築工事 設計図	NO S-08
					DRAWING TITLE 断面図4_り通り東面	SCALE 1:50	



1通り 南面

特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 〒725-0026 竹原市中央2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO
					DRAWING TITLE 断面図5_1 通り南面		SCALE 1:50	S-09



特記事項

DRAWN BY

CHECKED BY

APPROVED BY

(有)高木建築設計事務所
TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC. TEL 0846(22)6461

設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男
〒725-0026 竹原市中央2-11-16
事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

令和 年 月 日

JOB NAME

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図

DRAWING TITLE

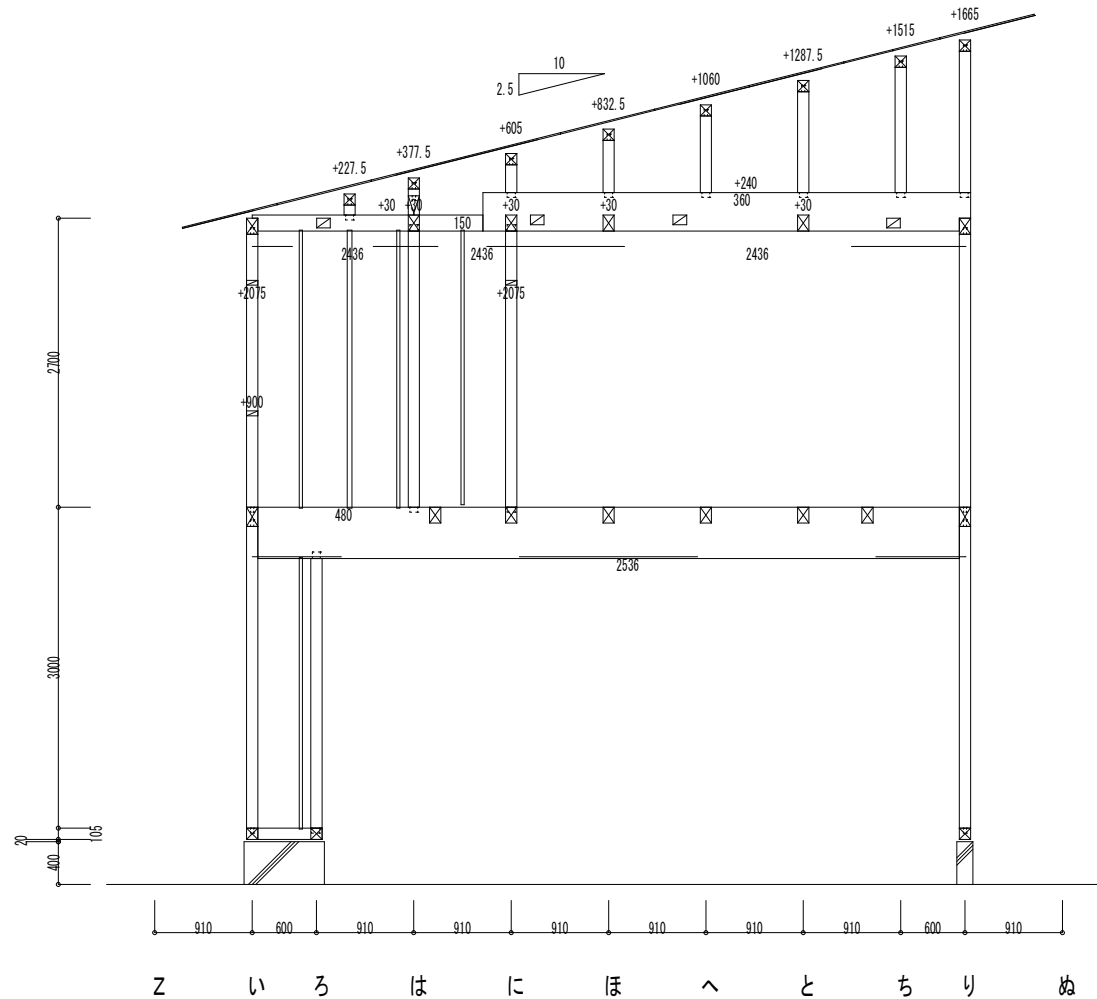
断面図6_2通り南面

SCALE

1:50

NO

S-10



特記事項

DRAWN BY

CHECKED BY

APPROVED BY

(有)高木建築設計事務所

TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461

〒725-0026 竹原市中央2-11-16

設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男

事務所登録 広島県知事登録第22(1)2274

令和 年 月 日

JOB NAME

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図

DRAWING TITLE

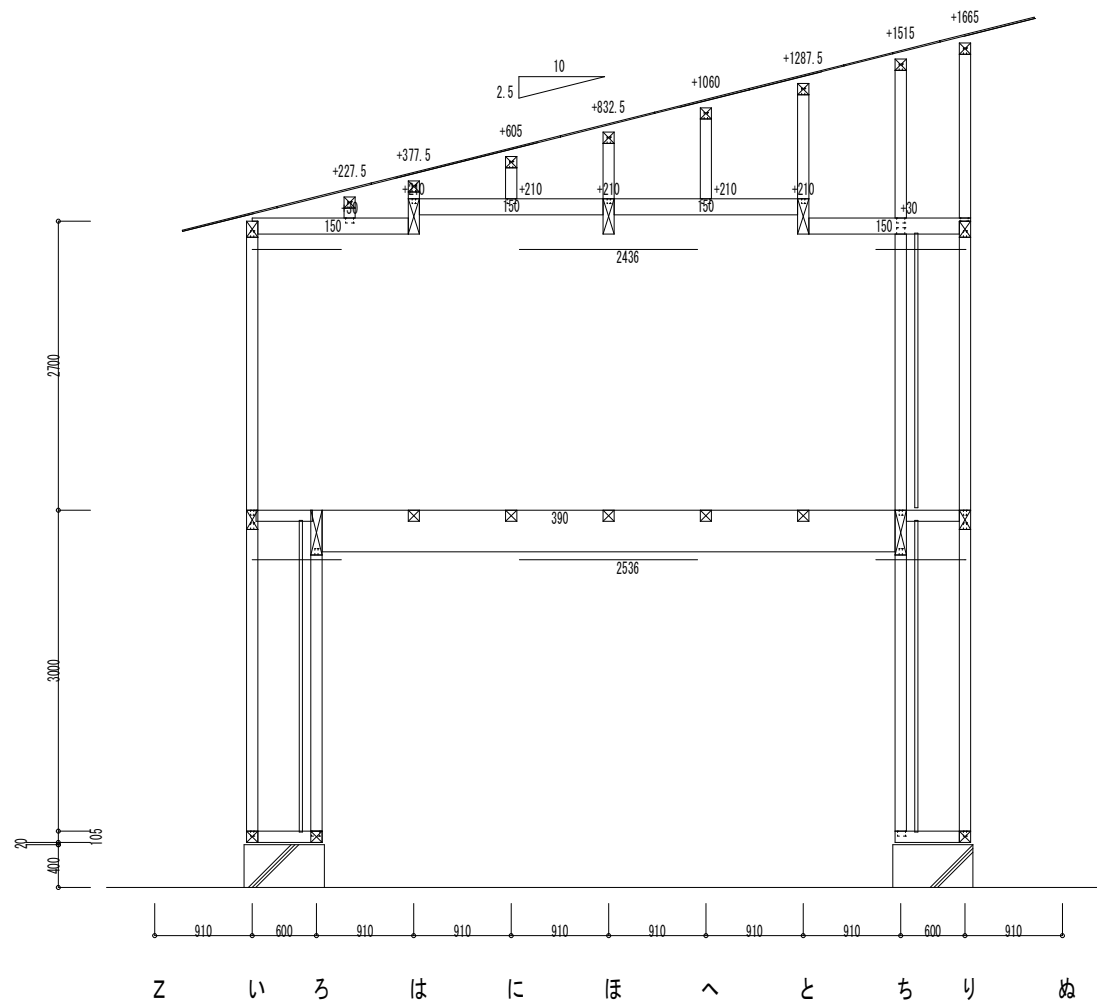
断面図7_3通り南面

SCALE

1:50

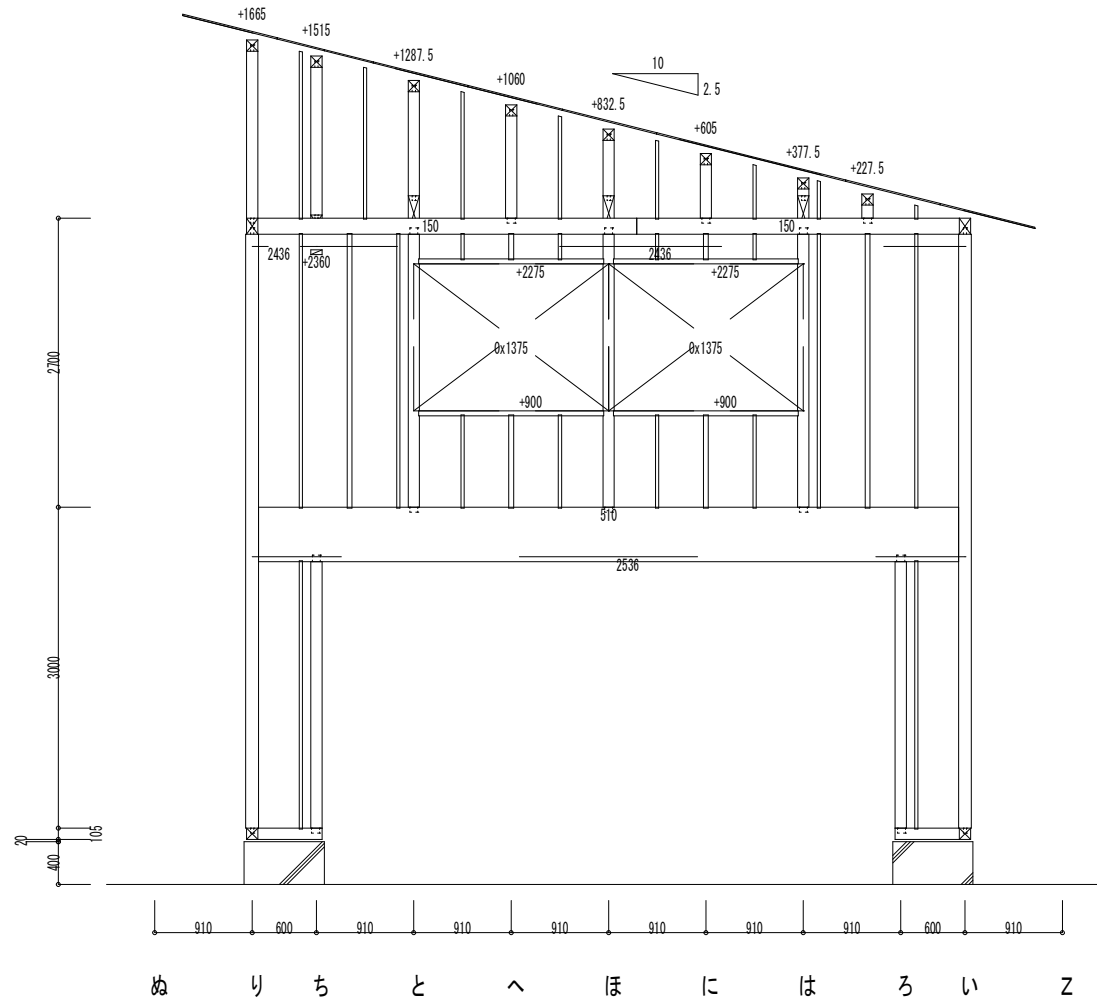
NO

S-11



5通り 南面

特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 〒725-0026 竹原市中央2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO
					DRAWING TITLE 断面図8_5通り南面		SCALE 1:50	S-12

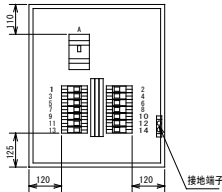
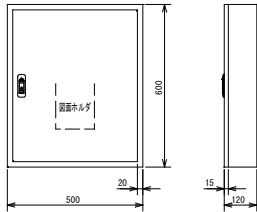


特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 〒725-0026 竹原市中央2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274	令和 年 月 日	JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO
					DRAWING TITLE 断面図9_8通り北面		SCALE 1:50	S-13

[illegible]

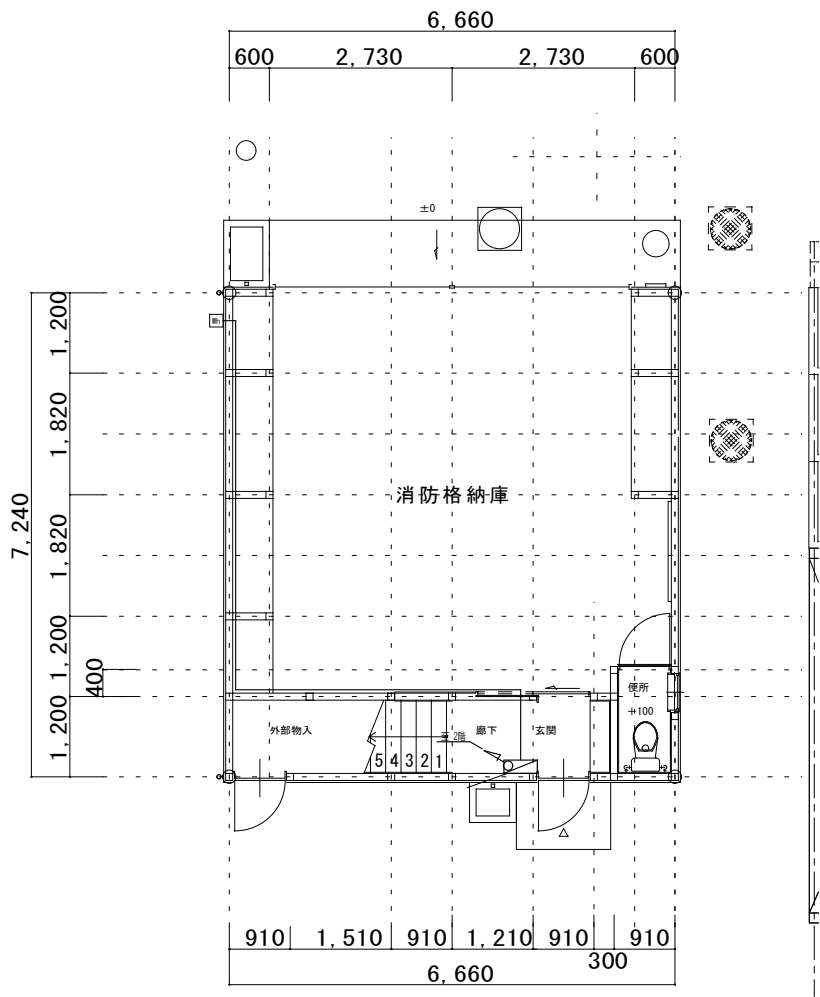
盤名称	主回路	分岐回路			負荷容量			備考
		回路番号	開閉器	電 圧	電 灯	コンセント	その他	
引込分電盤 屋内壁掛型	1Φ3W 210/105V DEM-CVT14sq MCB3P 50/50A							
		1	MCB2P 30/20A	100V		600VA		1F 収納スペース
		2	MCB3P 30/20A	"		600VA		車両用
		3	MCB2P 30/20A	"		700VA		下駄箱上
		4	MCB2P 30/20A	"		500VA		屋外用
		5	ELB2P 30/20A	"		1300VA		ウォシュレット
		6	MCB2P 30/20A	"		300VA		2F休憩室
		7	ELB2P 30/20A	"		900VA		キッチン
		8	ELB2P 50/40A	"		2100VA		IHヒーター
		9	MCB2P 30/20A	"		250VA		冷蔵庫
		10	MCB3P 30/20A	200V		240VA		2F エアコン
		11	MCB2P 30/20A	100V	247.3VA			電灯
		12	MCB2P 30/20A	100V		30VA		換気扇 (1F)
		13	MCB2P 30/20A	"		40VA		換気扇 (2F)
		14	MCB2P 30/20A	"		300VA		予備

引込分電盤

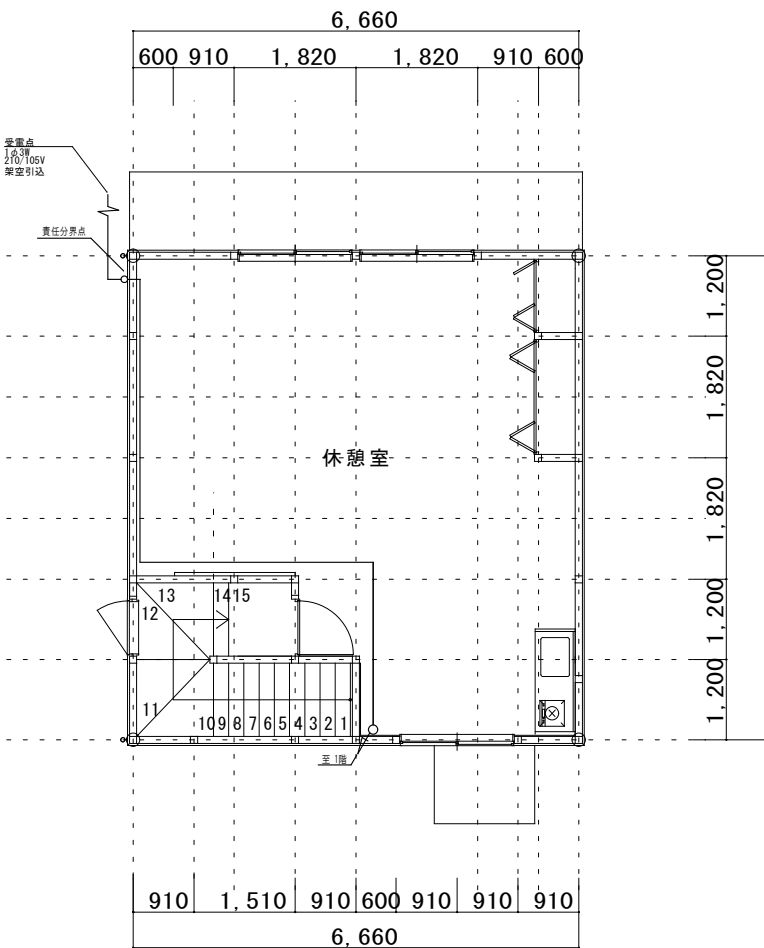


形 式	屋内用露出形 B12-56G
ボデー	鋼板 t1.6
ドア	鋼板 t1.6
基 座	
平置ハンドル	H-11AN (No. N200)
ハンドル	
塗外面	クリーム (2.5Y9/1)
塗内面	クリーム (2.5Y9/1)

凡 例	
	分電盤
	電力量計
	EM-CVT14sq, 1V5.5sq



1 階平面図



2 階平面図

特記事項

DRAWN BY
CHECKED BY
APPROVED BY

高木建築設計事務所

TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461

設計者 1級建築士 室102447号 高木 文彦
〒725-0026 竹原市中央2-11-16
事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

令和 年 月 JOB NAME

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事

設計図

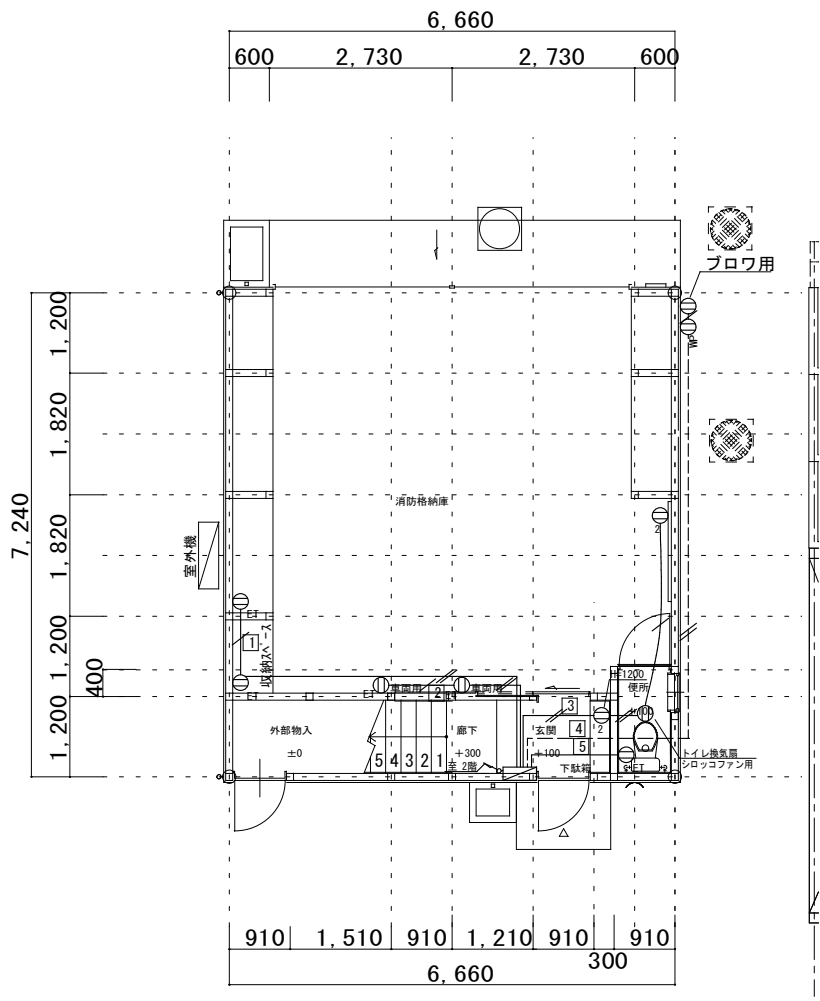
NO
E-03

DRAWING TITLE

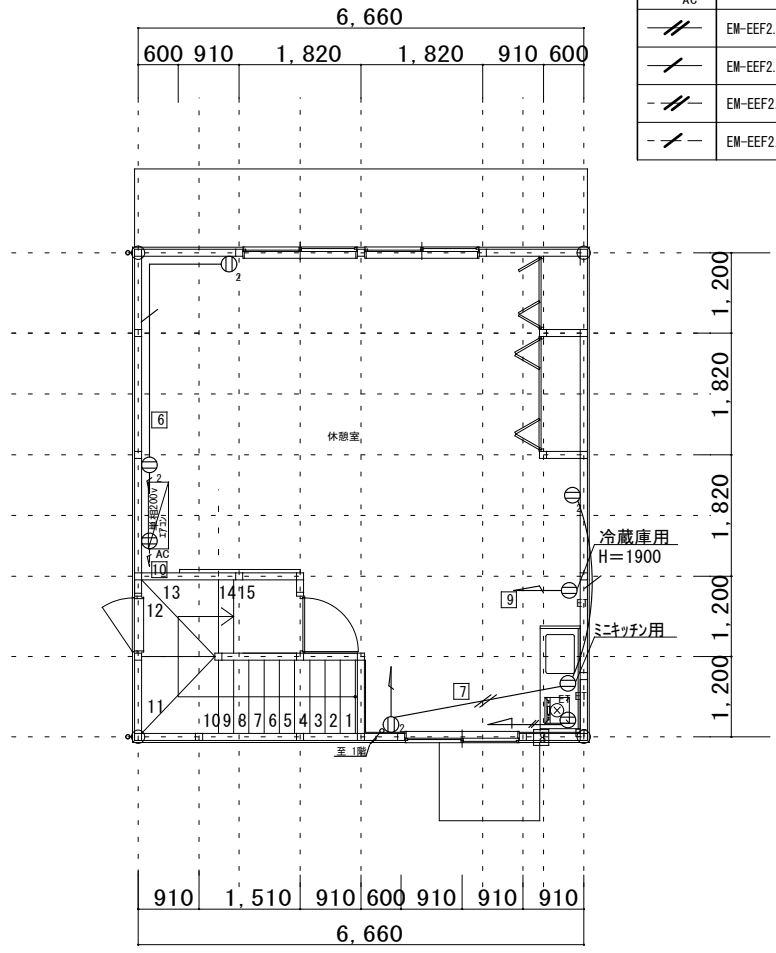
1、2 階平面図(幹線設備)

SCALE

1:80



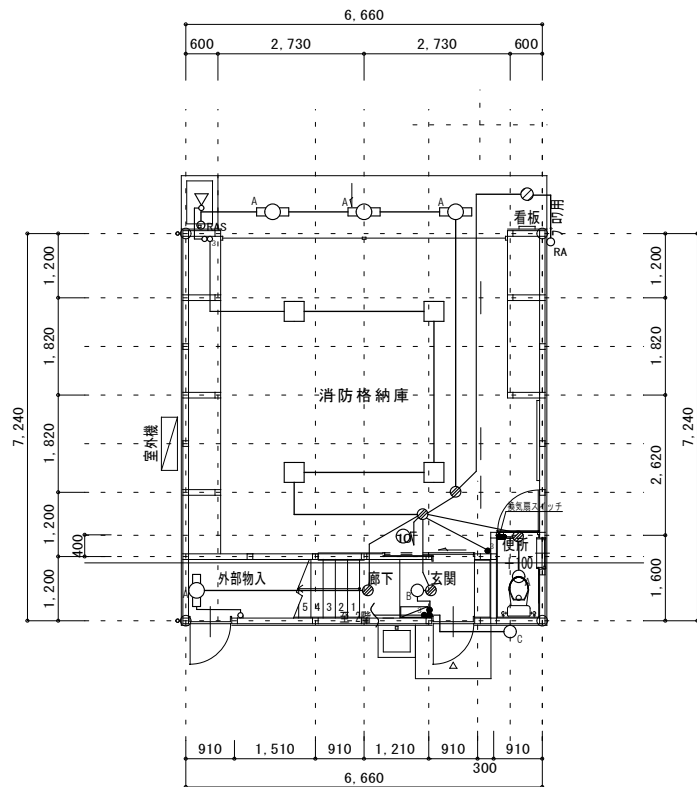
1 階平面図



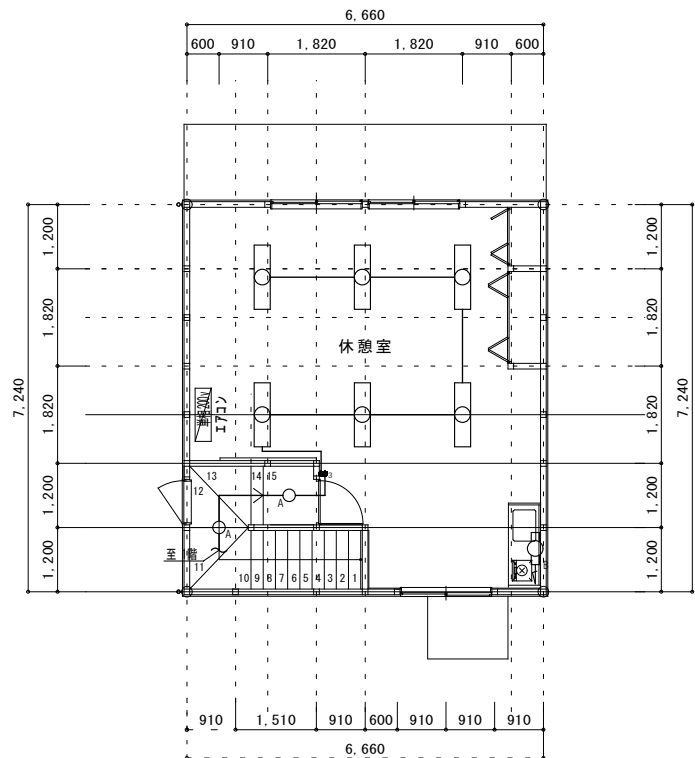
2 階平面図

凡 例	
① ₂	壁付コンセント 2P15A×2
① _{ET}	壁付コンセント 2P15A×2
① _{AG}	エアコン コンセント
—//—	EM-EEF2.0(3C) (ころがし)
—/—	EM-EEF2.0(2C) (ころがし)
-//-	EM-EEF2.0(3C) (隠べい)
-/-	EM-EEF2.0(2C) (隠べい)

凡 例	
	スイッチ
	3 路スイッチ
	VVF 用ジョイントボックス
	EM-EEF2.0(3C) (天井こらがし)



1 階平面図

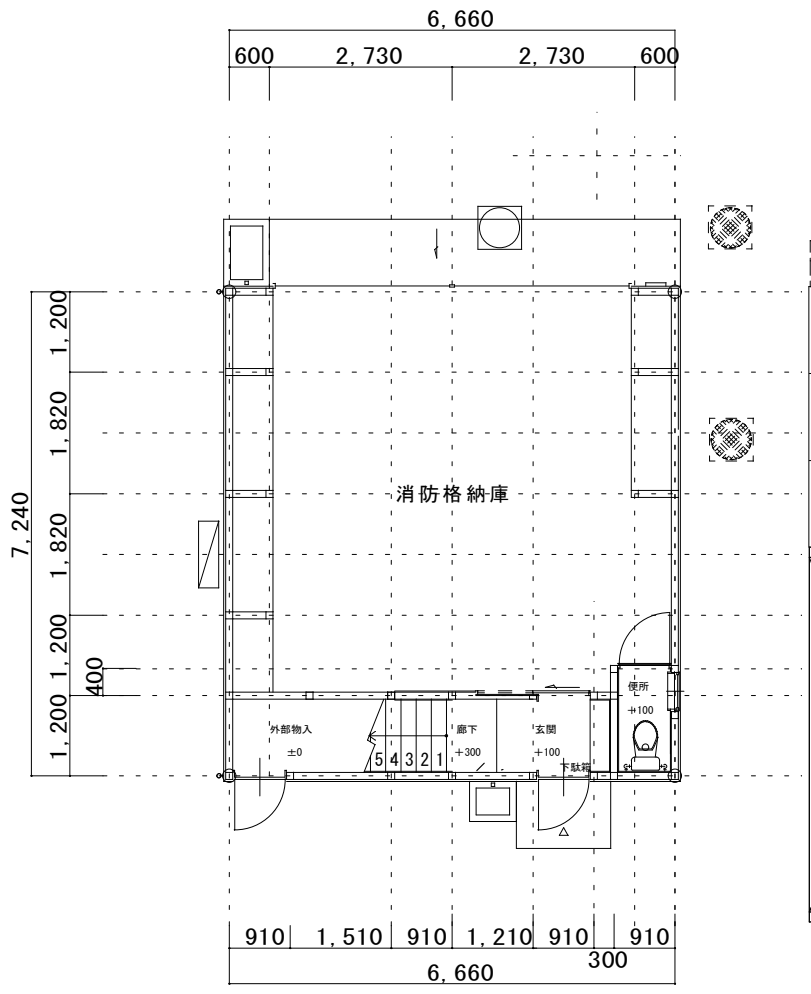


2 階平面図

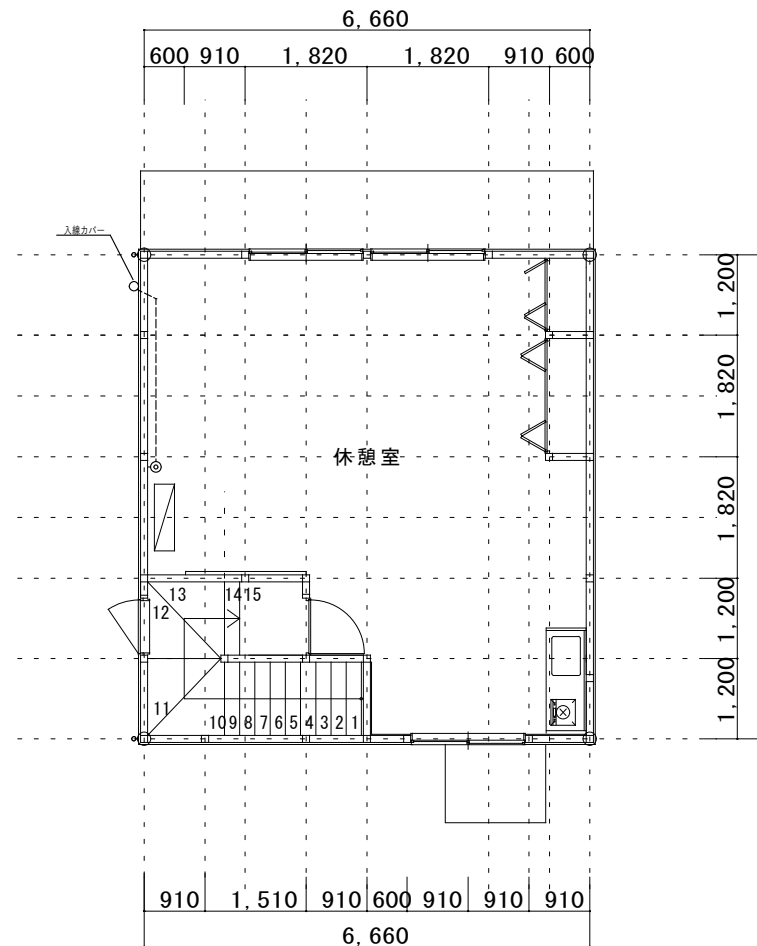
A LEDライトユニット形ベースライト(薄シリーズ) 防湿・防塵・防振(軒下)  ×4	i Dシリーズ埋込型20形 下面開放型 W150  ×6	O_A ダウンライト 60形  ×3	O_B LED照明器具 ベースダウンライト(薄シリーズ) φ150 人感センサータイプ  ×1	R LEDキッチンライト 20形直管型全1灯器具相当  ×1	C LEDプラケット 60形電球1灯器具相当  ×1	V LEDスポットライト 150形ハイビーム1灯器具相当  ×1
定格 固定出力・昼間光機能付 明るさ JFET2出力1灯器具 定格出力相当 色温度 色白色 5000K 光束lm 4700lm/2400lm 光束lm (lm) 2500 定格消費電力 (W) 16.7 寿命(L70 B50) 148,700時間 光束維持率(時間) 40000時間(光束維持率85%) 平均演色評価数 (Ra) Ra83	公共施設用機・LR56-2-30 一般タイプ、3200lmタイプ 定格消費電力 2.0、1W、光束lm、電圧100～242V 色温度 色白色 5000K 光束lm 4700lm/2400lm 光束lm (lm) 2500 定格消費電力 (W) 16.7 寿命(L70 B50) 148,700時間 光束維持率(時間) 40000時間(光束維持率85%) 平均演色評価数 (Ra) Ra83	公共施設用機・LR5-14-04-30K 一般タイプ、3200lmタイプ、電圧100～242V LEDの内蔵型(20形と8形)タイプ、電源ユニット内蔵、一般色光タイプ 2700K、Ra85、光束タイプ 定格消費電力 2.0、1W、光束lm、電圧100～242V 色温度 色白色 5000K 光束lm 4700lm/2400lm 光束lm (lm) 2500 定格消費電力 (W) 16.7 寿命(L70 B50) 148,700時間 光束維持率(時間) 40000時間(光束維持率85%) 平均演色評価数 (Ra) Ra83	定格 固定出力 明るさ クラス150(JH32形器具相当) 色温度 色白色 5000K 光束lm 150 消費電力 (W) AC100～242V 光束lm (lm) 1580 定格消費電力 (W) 12.3 (200時間) 寿命(L70 B50) 128,400時間(200時間) 光束維持率(時間) 40000時間(光束維持率85%) 平均演色評価数 (Ra) Ra83	色温度 (5000K)・Ra83 消費電力 (W) 9.6 (12W、電圧100V) 光束lm 1580 光束lm (lm) 1580 定格消費電力 (W) 12.3 (200時間) 寿命(L70 B50) 128,400時間(200時間) 光束維持率(時間) 40000時間(光束維持率85%) 平均演色評価数 (Ra) Ra83	電球型 2700K・Ra83 消費電力 (W) 9.6 (12W、電圧100V) 光束lm 1580 光束lm (lm) 1580 定格消費電力 (W) 12.3 (200時間) 寿命(L70 B50) 128,400時間(200時間) 光束維持率(時間) 40000時間(光束維持率85%) 平均演色評価数 (Ra) Ra83	電球型 2700K・Ra83 消費電力 (W) 9.6 (12W、電圧100V) 光束lm 1580 光束lm (lm) 1580 定格消費電力 (W) 12.3 (200時間) 寿命(L70 B50) 128,400時間(200時間) 光束維持率(時間) 40000時間(光束維持率85%) 平均演色評価数 (Ra) Ra83

特記事項	DRAWN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846 (22) 6461 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)1274	令和 年 月 日	JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO
					DRAWING TITLE 1、2階平面図(電灯設備図)		SCALE 1:100	E-05

凡 例	
⊙	TV端子
----	— (FEP40)



1 階平面図



2 階平面図

特記事項

DRAWN BY CHECKED BY APPROVED BY

(有)高木建築設計事務所

TAKAGI ARCHITECT OFFICE INC. TEL 0846(22)6461

〒725-0026 竹原市中央2-11-16

設計者 1級建築士 室10247号 高木 文男

事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

令和 年 月 JOB NAME

竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事

設計図

NO

E-06

DRAWING TITLE

1、2 階平面図(弱電設備)

SCALE

1:80

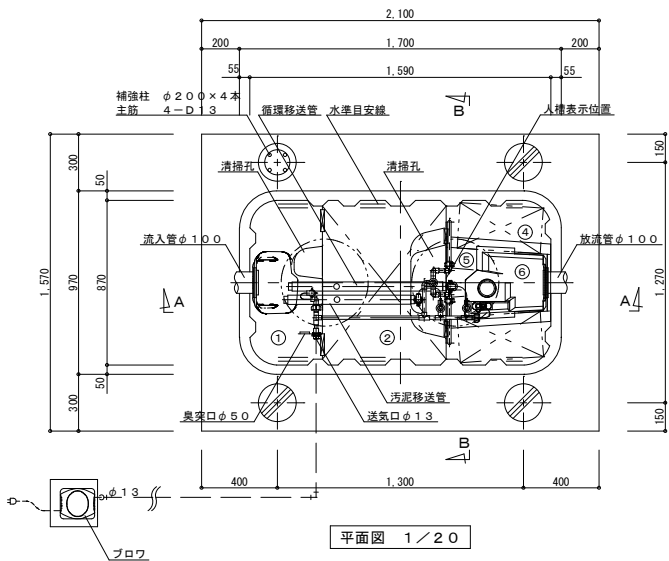
空調設備	1. 設計用温度条件	<table><tr><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="2">室 内 (調湿目標値)</th></tr><tr><th>夏季</th><th>冬季</th><th>夏季</th><th>冬季</th></tr><tr><td>温度 (DB) 湿度 (%)</td><td>温度 (DB) 湿度 (%)</td><td>温度 (DB) 湿度 (%)</td><td>温度 (DB) 湿度 (%)</td></tr><tr><td>9時 3.4 9.2 51 0.8</td><td>28. 0. 45 %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td></tr><tr><td>12時 14時 16時</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>冬季 -0. 2℃ 6. 9. 9 %</td><td>19. 0. 40 %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内 (調湿目標値)		夏季	冬季	夏季	冬季	温度 (DB) 湿度 (%)	温度 (DB) 湿度 (%)	温度 (DB) 湿度 (%)	温度 (DB) 湿度 (%)	9時 3.4 9.2 51 0.8	28. 0. 45 %	℃ %	℃ %	12時 14時 16時				冬季 -0. 2℃ 6. 9. 9 %	19. 0. 40 %	℃ %	℃ %	25. 消音内貼り 26. 防振基礎 27. 空調用流水の水質基準 28. フィルターの予備品	1) 空調用の吸出し接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吸出し接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動減衰効果は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水質ガイドライン) による。 空気調和設備又は冷媒パイプの設置枚数1000を予備品 (待付) として納める。 パイプには最低含率 (5. 0 %、1. 0 %) に相当する予備品 (待付) として納める。 動巻取り及びグリスフィルタは設置単位の1000を予備品として納める。	排水設備 換気設備	3. 汚水、雑排水及び汚物水中モーターポンプ 4. 接続付金等 5. 樹のコンクリート巻き 6. 満水試験機手	水中三相誘導電動機は、 (※ 乾式 ・ 油封式) とする。 電動機の種類は図示による。 電動機は、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小口設備等はコンクリート巻き仕上げとする。 (但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。) 図示の位置に取り付け。	石綿含有設備資材の処理について
	外 気 条 件		室 内 (調湿目標値)																													
	夏季	冬季	夏季	冬季																												
	温度 (DB) 湿度 (%)	温度 (DB) 湿度 (%)	温度 (DB) 湿度 (%)	温度 (DB) 湿度 (%)																												
	9時 3.4 9.2 51 0.8	28. 0. 45 %	℃ %	℃ %																												
	12時 14時 16時																															
	冬季 -0. 2℃ 6. 9. 9 %	19. 0. 40 %	℃ %	℃ %																												
	2. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 2) 暖房・空気取・給排水 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 4) 冷媒 ※ 断熱材被覆鋼管 5) 空調用給排水 ※ ステンレス鋼管 (SUS304) 6) 空調用排水 ・ 硬質PVC又はPVC (VP) ※ 給湯防止層付硬質塩化ビニル管	29. 冷媒 30. 排煙口開放及び復旧方式 31. 排煙風量測定	1) 冷水 2. 排煙口 3. 排煙口開放及び復旧方式 4. 排煙風量測定	1) 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 保溫付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 断熱材ラニウム鋼管 ・ 炭素鋼 1/2吋管 2) 通風機、給湯機類の付属配管等は製造業者標準品とする。図面に特記なき場合の耐圧は、5 Kとする。 ただし、公営水道に直接する部分及び特設部分は、1. 0 Kとする。 通風機の給排風機の出入口箇所は保溫 h-vi 式 行う。	1) 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランチ部 ダクトフランチ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランチ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を実施する。 2) ダクトの切断は、フランチ部の周囲約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランチ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランチ部 たわみ継手フランチ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランチ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を実施する。 2) ダクト及び機器の切断は、フランチ部の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランチ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランチ部 配管フランチ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランチ部分から十分な距離において慎重に行う。 (4) 成形保温材付配管の撤去 成形保温材付配管の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の周囲約100mmの箇所において慎重に行う。																									
	3. 弁類 4. 空調機用トップ 5. 鋼板製造	図面に特記なき場合の耐圧は、5 Kとする。 トップの形式はフットポート式 (床置き) ※ FRP製保溫型1) 厚さ 2mm ・ 4. 5mm 2) ばい煙温度計 ・ 取付可能 ・ 取付不可 3) 自動制御装置 ・ 取付可能 ・ 取付不可 4) ばい煙測定口 (80×2) ※ 取付可能 ・ 取付不可 5) 伸縮継手及び排出口は、図面に特記のない限り金属管製とする。 天吊りへの配管は、図面に特記のない限り金属管製とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線管はEMケーブルとし、規格は一般共通事項 3. 9. 電線管の規格による。 (後継、後継はこれにこれより多くてもいい) 用途: ①電源線、排気線 ②電気配管 (ケーブル・ミニ等) 用電線 ③各種配管 (温度・湿度等) 用配管 (バルブ・ダンパー等) における弱電管等、通風機を除く制御管	1. システム構成・機能 2. 自動制御装置 3. 自動制御装置 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配管	1) システム構成・機能 2. 自動制御装置 3. 自動制御装置 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配管	1) 都市ガス設備 2. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 都市ガス設備 2) 液化石油ガス 一般事業者の定めによる。 地中建設用 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ※ 取付け位置は図示による。外排出口は、不要 ・ 要 ※ 管径から制約後、近所等での配管は別途工事とする。 ・ 10 kg ・ 20 kg ・ 50 kg ____ kg ※ 借用 ・ 買取り ・ 確認 ・ 確認 最大充てん量 ____ kg ・ 借用 ・ 買取り 1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	II. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																									
	6. ばい煙温度計 7. 冷却機	ばい煙温度計は、送風機及び送風機、排気機、超絶音型等の規定は、日本冷凍空調工業会の標準仕様書による。	1. 冷却機	1. 冷却機	3. ガス漏れ警報器	※ 不要 ※ 取付け位置は図示による。外排出口は、不要 ・ 要 ※ 管径から制約後、近所等での配管は別途工事とする。 ・ 10 kg ・ 20 kg ・ 50 kg ____ kg ※ 借用 ・ 買取り ・ 確認 ・ 確認 最大充てん量 ____ kg ・ 借用 ・ 買取り 1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	III. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																									
8. ユニポート 空気調和機	ユニポートのケーシングに錆びる表面防錆対策は、図示による。 ※ 不要 ・ 図示による。 風量 30. 000m ³ /hを超える機器の許容音価レベルは、図示による。	1. ユニポート	1. ユニポート	4. 充てん容器	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
9. ファンコイルユニット	冷水温水管の接続部 (往・還) にはポート弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形)	1. ファンコイルユニット	1. ファンコイルユニット	5. バルク貯槽	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
10. パッケージ型 空気調和機 11. マルチパッケージ型 空気調和機 12. 集中管理リモコン 個別リモコン	装置にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インターロック機能は表示された能力、性能に準ずる。 内外接続は、原則として冷媒管と共通とする。 (ヒートポンプ) パッケージ型空気調和機の記載による。 リモコンの系統区分は図示による。	1. マルチパッケージ型 空気調和機 2. 集中管理リモコン 個別リモコン	1. マルチパッケージ型 空気調和機 2. 集中管理リモコン 個別リモコン	6. ガスメーター	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
13. オイルポンプ	形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形	1. オイルポンプ	1. オイルポンプ	7. 容器類の配管 8. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
14. 地下オイルタンク	1) 取付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重設タンク) ・ 標準図 (施工33) (タンク室有り) 2) 保護被覆材 ※ FRP ・ エキスパンション ・ アスファルト 3) 漏洩油量指示装置 (漏洩計は (抵抗変換式 ・ 磁気式) で (屋内 ・ 屋外) より流量警報用) を取付ける。 4) 基礎構造 ※ 要 ※ 要 (但し杭は) ※ 別途工事 ・ 本工事 5) 土留め工事 ※ 不要 ・ 要 ・ 本工事 ・ 別途工事 6) 漏洩油量指示装置 (漏洩計は (抵抗変換式 ・ 磁気式) で (屋内 ・ 屋外) より流量警報用) を取付ける。 7) 地下タンクは ※ コーナーポット式 (両側フランジ又はスライドフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 8) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の前後150mmを1. 6mm鋼板製とする。 9) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例の運用について」による。 10) シーリングフィッパシーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 11) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 12) 接続取出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 13) 外壁に近するガリにチャンパー等を取付ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 原則、亜鉛めっき板とする。	1. 地下オイルタンク	1. 地下オイルタンク	8. ガスメーター	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
15. オイルサービスタンク ダクト	1) 取付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重設タンク) ・ 標準図 (施工33) (タンク室有り) 2) 保護被覆材 ※ FRP ・ エキスパンション ・ アスファルト 3) 漏洩油量指示装置 (漏洩計は (抵抗変換式 ・ 磁気式) で (屋内 ・ 屋外) より流量警報用) を取付ける。 4) 基礎構造 ※ 要 ※ 要 (但し杭は) ※ 別途工事 ・ 本工事 5) 土留め工事 ※ 不要 ・ 要 ・ 本工事 ・ 別途工事 6) 漏洩油量指示装置 (漏洩計は (抵抗変換式 ・ 磁気式) で (屋内 ・ 屋外) より流量警報用) を取付ける。 7) 地下タンクは ※ コーナーポット式 (両側フランジ又はスライドフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 8) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の前後150mmを1. 6mm鋼板製とする。 9) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例の運用について」による。 10) シーリングフィッパシーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 11) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 12) 接続取出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 13) 外壁に近するガリにチャンパー等を取付ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 原則、亜鉛めっき板とする。	1. オイルサービスタンク ダクト	1. オイルサービスタンク ダクト	9. 容器類の配管 10. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
16. チャンパー等	1) シーリングフィッパシーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 接続取出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に近するガリにチャンパー等を取付ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 原則、亜鉛めっき板とする。	1. チャンパー等	1. チャンパー等	11. 容器類の配管 12. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
17. 吸出し口・吸込口のボックス	1) シーリングフィッパシーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 接続取出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に近するガリにチャンパー等を取付ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 原則、亜鉛めっき板とする。	1. 吸出し口・吸込口のボックス	1. 吸出し口・吸込口のボックス	13. 容器類の配管 14. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
18. グリス除去装置 風量測定口	※ グリスエクストクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 2) 自動工抜き装置は、標準図 (施工39) (a) による。 3) 機械室の手拭式で排気配管は、特記のない場合の保溫断熱は原則として分断部は2ととする。	1. グリス除去装置 風量測定口	1. グリス除去装置 風量測定口	15. 容器類の配管 16. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
19. 温度計	1) シーリングフィッパシーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 接続取出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に近するガリにチャンパー等を取付ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 原則、亜鉛めっき板とする。	1. 温度計	1. 温度計	17. 容器類の配管 18. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
20. 圧力計	1) シーリングフィッパシーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 接続取出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に近するガリにチャンパー等を取付ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 原則、亜鉛めっき板とする。	1. 圧力計	1. 圧力計	19. 容器類の配管 20. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
21. 定風量・変風量 ユニット	1) エア漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の可能な位置にエア抜き弁設置 (※ 手動 ・ 自動) を設ける。 2) 自動工抜き弁設置は、標準図 (施工39) (a) による。 3) 機械室の手拭式で排気配管は、特記のない場合の保溫断熱は原則として分断部は2ととする。	1. 定風量・変風量 ユニット	1. 定風量・変風量 ユニット	21. 容器類の配管 22. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										
22. 冷水温水管等の工抜き	1) エア漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の可能な位置にエア抜き弁設置 (※ 手動 ・ 自動) を設ける。 2) 自動工抜き弁設置は、標準図 (施工39) (a) による。 3) 機械室の手拭式で排気配管は、特記のない場合の保溫断熱は原則として分断部は2ととする。	1. 冷水温水管等の工抜き	1. 冷水温水管等の工抜き	23. 容器類の配管 24. 容器転倒防止	1) 継手メーカーはガス供給事業者より借用。メーカーは買取りとする。 2) メーカー計量方式 (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b) ・ (c)	IV. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることと表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 (3) 構外搬出通知後、監督職員へ報告書を出す。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																										

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所	機 器 仕 様	電動機		動力 kW	起動 方式	台数	参考品番
				相	電圧 V				
AC-1	ヒートポンプパッケージエアコン 室外機	1F 外部	型 式 : ペア 冷 房 能 力 : 7.1 kW 暖 房 能 力 : 8.0 kW	1	200	2	L-S	1	三菱pe2-ermp80sk5
AC-1-1	ヒートポンプパッケージエアコン 室内機	2F 休憩室	型 式 : 天井吊形 冷 房 能 力 : 7.1 kW 暖 房 能 力 : 8.0 kW						
FE-1	シロッコファン 防火ダンパー付丸型フード防虫網付	1F トイレ	風 量 :160m3/h	1	100	12.5W		1	三菱VD-15ZXV7
								1	三菱P-13FSQD5
FE-2	シロッコファン 防火ダンパー付丸型フード防虫網付	2F 休憩室	風 量 :300m3/h	1	100	17W		1	三菱VD-18ZXV7
								1	三菱P-18FSQD5

1 階 平 面 図

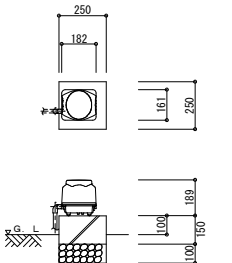
2 階平面図

特記事項	DRAIN BY	CHECKED BY	APPROVED BY	(有)高木建築設計事務所 TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL. 0846(22) 6461 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1) 2274	令和 7年 8月 31日	JOB NAME	竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図		NO
					DRAWING TITLE		SCALE		M-03
					機械設備 1階、2階平面図		1:100		



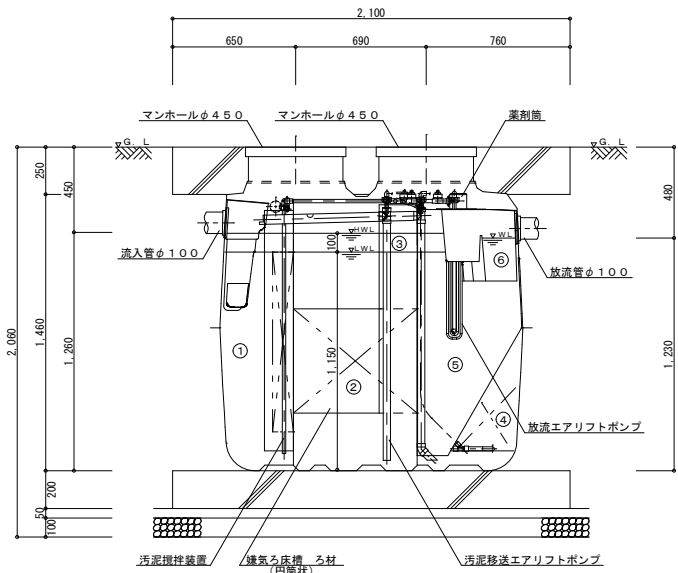
平面図 1/20

一般事項	
コンクリート	Fc=21N/mm2
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
開口補強筋	D13ダブル
地業	砕石又はRC 40~0

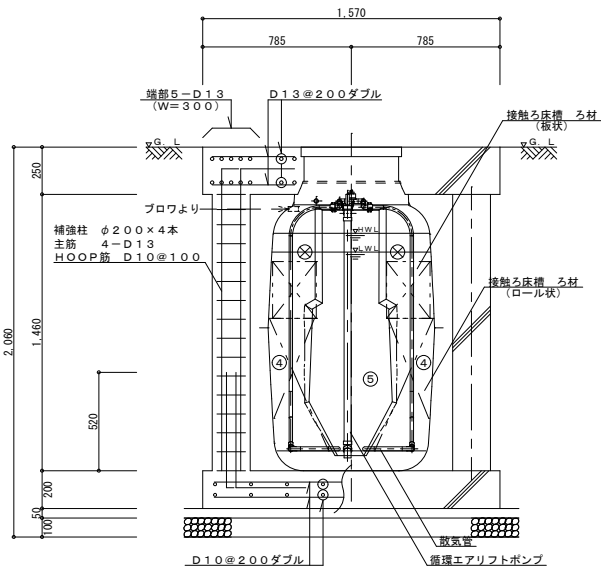


※基礎寸法は参考値とする

ブロウ 平・断面図 1/20



A-A断面図 1/20



B-B断面図 1/20

仕 様 表				
設計番号				
型式名称	CA－5型			
処理対象人員	5人			
汚水量	1. 00m3/d			
流入水質	BOD200mg/L	COD100mg/L	T-N 45mg/L	SS 160mg/L
放流水質	BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L	SS 15mg/L
①	沈殿分離槽	有効容量	0. 317	m3
②	嫌気ろ床槽	有効容量	0. 600	m3
③	ピークカット部	有効容量	0. 120	m3
④	接触ろ床槽	有効容量	0. 296	m3
⑤	処理水槽	有効容量	0. 165	m3
⑥	消毒槽	有効容量	0. 015	m3
	総 容 量	有効容量	1. 513	m3
機 器 装 置 仕 様				
嫌気ろ床槽ろ材 (円筒状)	PPまたはPE			充填率 43%
接触ろ床槽ろ材 (ロール状)	PPまたはPE			充填率 61%
接触ろ床槽ろ材 (板状)	PPまたはPE			充填率 21%
ブロウ	60L/min	φ13	連続運転	1台
槽本体	FRP			
パイプ類	PVC、PPまたはPE			
マンホール	FRPまたは舗鉄 (2500K)			
消毒剤	固形塩素剤			

配管仕様	
露出配管 (ブロウ廻り)	VP
土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

- 注1) 上部は4t車 (T-10) 荷重とする。
注2) 機器電源は単相100Vとする。
注3) 図中の“G、L”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注4) 浄化槽からブロウまでの距離は5m以内とする。
注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注7) ブロウ付近にコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注8) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。

施工高さ範囲				
項目	端上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
最小寸法 (この図面)	130H	G、L-450	G、L-480	2060H
最大寸法	300H	G、L-620	G、L-650	2230H

注) 製品全高は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。
流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。